

# 無線通信研究委員会

## WP 6A会合 (ジュネーブ)

### 報告書

平成 28 年 10 月 18 日 ～ 平成 28 年 10 月 26 日

# 目次

<b>1. まえがき</b> .....	<b>1</b>
<b>2. 会議の概要</b> .....	<b>4</b>
2.1 会議の構成.....	4
2.2 主要結論.....	4
<b>3. 審議の内容</b> .....	<b>8</b>
3.1 テレビジョン(SWG 6A-1).....	8
3.2 保護 (SWG 6A-2).....	18
3.3 共用(SWG 6A-3).....	25
3.4 その他(SWG 6A-4).....	30
3.5 音声(SWG 6A-5).....	37
3.6 DTTBハンドブック(Ad-HOC GROUP 1).....	40
<b>4. あとがき</b> .....	<b>42</b>
<b>表 1 日本からの出席者 (5 名)</b> .....	<b>43</b>
<b>表 2 入力文書 (154 件)</b> .....	<b>44</b>
<b>表 3 出力文書一覧(34 件)</b> .....	<b>54</b>

## 1. まえがき

国際電気通信連合無線通信部門(ITU-R)第 6 研究委員会(SG 6 : 放送業務)の作業部会WP6A(地上放送)会合が下記のとおり開催された。

開催日 : 2016 年 10 月 18 日 (火) ~ 10 月 26 日 (水) (7 日間)  
開催地 : ITU本部(スイス・ジュネーブ)  
議長 : A. Nafez氏(イラン)  
副議長 : W.Sami氏(EBU)、R. Bunch氏(オーストラリア)  
D. Hemingway氏(BBC)、P. Lazzarini氏(バチカン)、  
L. Olson氏(アメリカ)、J. Song氏(中国)、  
参加者 : 30 ヶ国+16 機関から 97 名(名簿登録者。事務局除く)  
日本 : 佐々木 (総務省)、根岸、三谷、西田、成清 (NHK)  
(表 1 参照)  
入力文書 : 154 件 (表 2 参照)  
出力文書 : 34 件 (表 3 参照)

### 出力文書の概要

#### **SG6 に提出:7 件**

##### **レポート改訂案 : 5 件**

- (1) ITU-R BT.2343-1 「DTTネットワークにおけるUHDTVの野外実験のコレクション」 (6A/TEMP/26)
- (2) ITU-R BT.2382-0 「地上デジタル放送受信機への干渉の概要」 (6A/TEMP/28)
- (3) ITU-R BT.2301-1 「放送業務と移動業務に共通一次分配された帯域における各国のIMT導入経験」 (6A/TEMP/33R2)
- (4) ITU-R BS.2214-1 「VHF帯における地上デジタル音声放送システムのプランニングパラメータ」 (6A/TEMP/36)
- (5) ITU-R BT.2383-0 「周波数共用および干渉評価のための 470-862MHzにおける地上デジタルテレビジョン放送の特性」 (6A/TEMP/54)

##### **新ハンドブック案 : 1 件**

- (1) DTTB Handbook 「地上デジタル放送網とシステムの導入」 (6A/TEMP/45 Annex1-17)

##### **その他 : 1 件**

- (1) ITU用語データベースへの登録(6A/TEMP/43)

## **継続審議：13件**

### **新勧告草案：1件**

- (1) ITU-R BS.[IRDR]「短波帯での緊急放送のための国際災害救援放送（IRDR）周波数の利用」(6A/TEMP/39)

### **勧告改訂草案：3件**

- (1) ITU-R BT.1871「ワイヤレスマイクのユーザー要求」(6A/TEMP/30)
- (2) ITU-R BT.1368-12「VHF/UHF帯の地上デジタルテレビジョンサービスの混信保護比を含むプランニング基準」(6A/TEMP/34)
- (3) ITU-R BS.1114-9「30-3000MHz帯の車載、ポータブル、固定受信機向け地上デジタル音声放送システム」(6A/TEMP/37)

### **レポート改訂草案：2件**

- (1) ITU-R BT.2252-2「地上デジタル放送のシステムA、BおよびDの信号に関する客観的なカバレッジ品質評価」(6A/TEMP/27)
- (2) ITU-R BT.2386-0「SFNの設計と導入」(6A/TEMP/35)

### **作業文書：3件**

- (1) レポートITU-R BT.2344-0「放送で利用されるSAB/SAPの技術的なパラメータ、運用特性および展開シナリオ」(6A/TEMP/31)
- (2) レポートITU-R BT.2299「公衆への警報周知、災害の軽減、防止のための放送」(6A/TEMP/38)
- (3) レポートITU-R BT.2069-6「ENG, TVOB, EFPの調和周波数と運用特性」(6A/TEMP/41)

### **その他：4件**

- (1) BTシリーズのいくつかのレポートの廃止可能性 (6A/TEMP/32)
- (2) SG6 の新オピニオン草案「スマートフォン、タブレットにおけるラジオ受信機能のアクティベーション」(6A/TEMP/40)
- (3) レポートITU-R BT.2254-2「DVB-T2 の周波数プランニングとネットワーク」の将来的な改訂案に向けた要素(6A/TEMP/55)
- (4) CCVへのリエゾン文書草案「selectivity thresholdの定義」(6A/TEMP/56)

## **その他：14件**

### **リエゾン文書：12件**

- (1) WP1A, 1B,1C, 5A, 5B, 5C,7Aおよび 7Dへのリエゾン文書「WPTの無線周波数

- レンジ」(6A/TEMP/25)
- (2) WP5Aおよび5Cへのリエゾン文書「レポートITU-R BT.2344（放送で利用されるSAB/SAPの技術的なパラメータ、運用特性および展開シナリオ）について」(6A/TEMP/42)
  - (3) WP1Cへのリエゾン文書「DVB-T,DVB-T2 のプランニング基準、カバレッジ測定、検査および評価に関するITU-R勧告とレポート」(6A/TEMP/44)
  - (4) WP5Dへのリエゾン文書「共用および両立性の検討に使用するIMTネットワークのモデルとシミュレーション」(6A/TEMP/46)
  - (5) SG5 へのリエゾン文書「レポートITU-R BT.2337（470-694/698 MHzにおける地上デジタル放送とIMTを含む広帯域移動アプリケーションとの共用と両立性に関する検討）の改訂」(6A/TEMP/47)
  - (6) WP1Aへのリエゾン文書「勧告ITU-R SM.851（VHFおよびUHF帯における放送業務と固定/移動業務の共用）の改訂」(6A/TEMP/48)
  - (7) WP5Aへのリエゾン文書「WRC-19 議題 1.1（50-54MHz帯におけるアマチュア業務への周波数配分（第1地域））」(6A/TEMP/49)
  - (8) WP7Bへのリエゾン文書「WRC-19 議題 1.3（460-470MHz帯における気象衛星業務の一次分配への格上げ、および地球探査衛星業務の新規一次分配の検討）に関する放送サービスのための技術的特性」(6A/TEMP/50)
  - (9) WP7Bへのリエゾン文書「WRC-19 議題 1.7（短期ミッション非静止軌道衛星による宇宙運用業務のための周波数ニーズの検討）に関する放送サービスのための技術的特性」(6A/TEMP/51)
  - (10) WP1Aへのリエゾン文書「勧告ITU-R SM.1009-1（87-108MHzにおける音声放送業務と108-137MHzにおける航空業務の両立性）の改訂について」(6A/TEMP/52)
  - (11) ITU-D SG2 へのリエゾン文書「防災、減災、災害対応のための電気通信/ICT利活用に関するITU-Dのレポート」(6A/TEMP/53)
  - (12) WP3Kへのリエゾン文書「デジタルTVサービスの受信信号品質に関するダクトの影響」(6A/TEMP/58)

#### コレスポネンスグループの設置：2件

- (1) 第1世代以降のDTTBシステムのカバレッジ評価を含む特性評価手法に関するコレスポネンスグループの設置 (6A/TEMP/29)
- (2) 同一チャンネルにおける異常伝搬の影響を評価するためのMERの使用に関するコレスポネンスグループの設置 (6A/TEMP/57)

## 2. 会議の概要

### 2.1 会議の構成

以下の5つのサブ・ワーキング・グループ(SWG)、およびDTTBハンドブックを審議するアドホックグループで審議を行った。

SWG 6A-1	テレビジョン	議長：W.Sami氏(EBU)
SWG 6A-2	保護	議長：D. Hemingway氏(BBC)
SWG 6A-3	共用	議長：R. Bunch氏(オーストラリア)
SWG 6A-4	その他	議長：P. Lazzarini氏(バチカン)
SWG 6A-5	音声	議長：J. Song氏(中国)
Ad-hoc Group 1	DTTBハンドブック	共同議長：C. Dosch氏(ドイツ) D. Hemingway氏(BBC)

### 2.2 主要結論

#### (1) テレビジョン

- ・ レポートITU-R BT.2343-1 改訂案「DTTネットワークにおけるUHDTVの野外実験のコレクション」

各国のUHDTV地上波野外伝送実験結果をまとめているレポートの改訂提案である。

リオ五輪期間中にブラジル国内で実施した8K地上波伝送パブリックビューイングの概要を追加するブラジル・日本共同の提案を行った。特段の異論なく、レポート改訂案をSG6へ送付した。

- ・ レポートITU-R BT.2252-2 改訂草案「地上デジタル放送のシステムA、BおよびDの信号に関する客観的なカバレッジ品質評価」

地上デジタル放送の客観的なカバレッジ品質評価の基本情報を取りまとめているレポートの改訂提案である。

日本から、ISDB-Tの章を新たに設け、地上デジタル放送移行時に日本で実施した「新たな難視聴地域の確認調査」の要領をカバレッジ評価法として追加する提案を行った。他のシステムの情報更新の検討時間を設けるため、レポート改訂草案を議長レポートに添付して継続審議することになった。

- ・ 勧告ITU-R BT.1368-12 改訂草案「VHF/UHF帯の地上デジタルテレビジョンサービスの混信保護比を含むプランニング基準」

第1世代地上デジタル放送の混信保護比が記載されている勧告の改訂提案である。

中国から、Annex4に記載のDTMBについて、帯域幅7MHzの混信保護比を追記する提案と、2015年7月会合で第1世代のシステム勧告であるIUT-R

BT.1306 に追加されたDTMB-Aの混信保護比（帯域幅 8MHzのみ）をAnnex5 として追加する提案があった。2 つの提案をマージした勧告改訂草案を議長レポートに添付して継続審議することになった。

- ・ レポートITU-R BT.2382-0 改訂案「地上デジタル放送受信機への干渉の概要」  
地上デジタル放送受信機への様々な干渉について実験結果などが記載されているレポートの改訂提案である。  
前会合でCBSの提案に基づき、Annex 4 として地上デジタル放送受信機内の相互変調の測定方法と解析結果を追加するレポート改訂草案を議長レポートに添付して継続審議となっていた。  
今会合でCBSからレポート改訂案のSG6 への送付を求める寄与文書が入力され、特段の反対意見は無く、SG6 へ送付した。
- ・ レポートITU-R BT.2383-0 改訂案「周波数共用および干渉評価のための 470-862MHzにおける地上デジタルテレビジョン放送の特性」  
放送と他業務との周波数共用と両立性検討のための地上デジタル放送の特性が記載されているレポートの改訂提案である。  
BNE(Broadcast Networks Europe)から、DVB-T/T2 の低電力時のアンテナパターンを変更する提案があり、レポート改訂案をSG6 へ送付した。

## (2) 保護

- ・ WP7Bへのリエゾン文書「WRC-19 議題 1.3（460-470MHz帯における気象衛星業務の一次分配への格上げ、および地球探査衛星業務の新規一次分配の検討）に関する放送サービスのための技術的特性」  
WP7Bに対して、WRC-19 議題 1.3 の検討に必要な勧告とレポートの情報を伝えるリエゾン文書を送付することとなった。
- ・ WP7Bへのリエゾン文書「WRC-19 議題 1.7（短期ミッション非静止軌道衛星による宇宙運用業務のための周波数ニーズの検討）に関する放送サービスのための技術的特性」  
WP7Bに対して、WRC-19 議題 1.7 の検討に必要な勧告とレポートの情報を伝えるリエゾン文書を送付することとなった。ドイツからの提案により勧告ITU-R BS.1114 が、タイからの提案によりレポートITU-R BS.2214 が、それぞれリストに追加されることとなった。

- ・ WP1Aへのリエゾン文書「WPTの無線周波数レンジ」

WP1Aに対して、研究課題ITU-R 210-3/1 および、WRC-19 課題 9.1.6 になっているWPTについて、研究状況を知らせるリエゾン文書を送付することとなった。

- ・ ラポータグループの継続

WPT(Wireless Power Transfer)、PLT(Power Line Telecommunication)、RFハザードの3つのラポータグループが活動しており、PLTに関するラポータグループは今会合で終了とし、WPTとRFハザードに関するラポータグループは継続することに合意した。

### (3) 共用

- ・ レポートITU-R BT.2301-1 改訂案「放送業務と移動業務に共通一次分配された帯域における各国のIMT導入経験」

800MHz帯の欧州各国のIMTの導入経験をまとめたレポートの改訂提案である。

フランスから、国内の800MHz帯のLTEサービスから地上デジタル放送への干渉について調査した結果、LTE基地局から干渉が観測された地点までの距離は短いため国境を超える問題にはならないこと、干渉はTVアンテナとチューナーの間にフィルタを入れることで改善することを追加する提案があり、レポート改訂案をSG6へ送付した。

### (4) その他

- ・ 勧告ITU-R BT.1871 改訂草案「ワイヤレスマイクのユーザー要求」

各国のアナログ及びデジタルワイヤレスマイクの典型的なシステムパラメータ及び運用条件が記載されている勧告の改訂提案である。

オーストラリアから自国のワイヤレスマイク用周波数帯の変更に伴う改訂提案、アメリカから自国のワイヤレスマイク用周波数を追加する提案があった。次会合までに各国が最新の情報を入力できるよう、勧告改訂草案を議長レポートに添付して継続審議することになった。

### (5) 音声

- ・ レポートITU-R BS.2214-1 改訂案「VHF帯における地上デジタル音声放送システムのプランニングパラメータ」

地上デジタル音声放送のプランニングパラメータが記載されているレポートの改訂提案である。

前会合でロシアからRAVISに関する実験結果の追加とレポートの章構成の変



更の提案があり、レポート改訂草案が議長レポートに添付されていた。

今会合でロシアはSG6 への送付を希望し、特段の意見が出なかったため、レポート改訂案をSG6 へ送付した。

- ・新勧告草案ITU-R BS.[IRDR]「短波帯での緊急放送のための国際災害救援放送 (IRDR) 周波数の利用」

新しい勧告の提案である。

HFCC（短波周波数調整会議）から、国際災害救援放送（IRDR:International Radio for Disaster Relief）周波数の利用に関するITU-R勧告化が提案された。短波放送周波数（7 400～21 840kHz）の各バンド毎に緊急放送用としてリザーブすべきIRDR周波数が記載されている。BBCは、HFCCの提案を支持し、特段の異論なく新勧告草案を議長レポートに添付して継続審議することになった。

#### (6) DTTBハンドブック

- ・新ハンドブック案「地上デジタル放送網とシステムの導入」

2008 年 10 月会合で作成に合意して以来、長期に渡りラポータグループが編集作業を続けてきた、地上デジタル放送およびマルチメディア放送の導入に関するハンドブックの草案である。

前会合でドラフティング作業を行ったが、文案が完成せず作業文書として議長レポート添付となっていた。前会合から今会合にかけて、コレスポネンスグループでドラフティング作業を続け、今会合で、全ての章をレビューし、エディトリアルな修正を行った後、新ハンドブック案としてSG6 へ送付した。

### 3. 審議の内容

#### 3.1 テレビジョン(SWG 6A-1)

SWG6A-1 では、全 23 件の寄与文書を、開発(2 件)、評価(3 件)、プランニング(12 件)、一般(2 件)、技術(4 件)の 5 つの議題に分けて議論することとした。5 回の SWG 会合で、12 件の TEMP 文書を承認し、3 件のレポート改訂案、2 件のリエゾン文書、7 件の議長レポート添付文書を出力した。また、第 1 世代以降の DTTB システムの特性評価方法を検討する CG (Correspondence Group) と、MER から干渉波電力を算出する手法を検討する CG を設置した。

#### ○開発(2 件)

- ・レポート ITU-R BT.2343-1 改訂案「DTT ネットワークにおける UHDTV の野外実験のコレクション」

入力文書：6A/138 (ブラジル、日本)

出力文書：6A/TEMP/26 (SG6 送付)

審議結果：

各国の UHDTV 地上波野外伝送実験結果をまとめたレポート ITU-R BT.2343-1 に、リオ五輪期間中にブラジル国内で実施した 8K 地上波伝送パブリックビューイングの概要を追加するブラジル・日本共同のレポート改訂提案である。

SWG 議長は、90Mbps 以上という大容量伝送で大変興味深いとコメントした上で、伝送距離についてブラジルに質問したところ、ブラジルは約 8 キロ程度であると返答した。WP6A 議長も 4096QAM や MIMO 伝送の技術を使用していることに大変興味を示し、賞賛した。オーストラリアより、受信機や伝搬路について質問があり、日本は受信機がプロトタイプであることと、伝搬路などの詳細についてはオフラインで回答することを伝えた。あわせて、日本では衛星による 4K/8K の試験放送が始まり、地上波放送は検証している段階であることを説明した。また、Teracom より所要 C/N の質問があり、日本より約 30dB であると返答した。

審議の結果、特段の異論なく、レポート改訂案(6A/TEMP/26)を SG6 へ送付した。

- ・WP4B から WP6B へのリエゾン返書 (WP6A はコピー送付)

入力文書：6A/34 (WP6B)

出力文書：なし

審議結果：

前会合で、WP6B から WP4B へ UHDTV 放送に必要なビットレートに関する情報を求めるリエゾン文書を送付しており、これに対して、新勧告案 ITU-R

BO.[UHDTV-TRANSMISSION]、および新レポート草案ITU-R BO.[UHDTV-SATEXP]を作成したことを伝えるリエゾン返書である。

日本より簡単に寄書内容を説明し、日本の衛星試験放送での伝送ビットレートは約 100Mbpsであることを伝えた。オーストラリアより、放送は 4Kなのか 8Kなのか質問があり、日本は主に 8Kであると返答した。SWG議長は、本リエゾン返書は、伝送ビットレートを知らせる文書であるため、情報として了知することを提案し、特段の異論なくNotedされた。

#### ○評価(3件)

- ・新勧告草案ITU-R BT.[BEYOND1stGEN]「第 1 世代以降のDTTBシステムのカバレッジ評価を含む特性評価方法」

入力文書：6A/36 Annex1 (前回議長レポート添付)

出力文書：6A/TEMP/29 (議長レポート添付)

審議結果：

第 2 世代地上デジタル放送の性能評価手法に関する新勧告草案作成の審議である。

前会合で、FreeTV Australiaは、第 2 世代地デジ方式の評価方法に関する新勧告の作成を提案したが、アメリカが第 2 世代の定義が不明確であり、また本勧告草案にはDVB-T2 のみが記載されているため、タイトルの変更を求めた。その結果、新勧告草案作成に向けた作業文書を議長レポート添付として継続審議とすることに合意していた。

今会合で、オーストラリアは、議長レポート添付(6A/36 Annex1)のタイトルはBeyond 1st generationのまま、文書内のDTTをDVB-T2 に変更し、内容もBT.2033 等から引用する形でDVB-T2 に特化した文書に修正することを提案した。特段の意見はなかったが、SWG議長は、継続して議論を進めるためのCGの設置を提案し、合意された。新勧告草案の修正版は作成されず、CGのToRを確認後、議長レポート添付(6A/TEMP/29)することになった。

- ・レポートITU-R BT.2252-2 改訂草案「地上デジタル放送のシステムA、BおよびDの信号に関する客観的なカバレッジ品質評価」

入力文書：6A/124 (日本)

出力文書：6A/TEMP/27 (議長レポート添付)

審議結果：

地上デジタル放送の各システムに関する客観的なカバレッジ品質評価の基本情報を取りまとめているレポートに関する審議である。

今会合で、日本(6A/124)は、ISDB-Tの章を新たに設け、地上デジタル放送

移行時に日本で実施した「新たな難視聴地域の確認調査」の要領をカバレッジ評価法として追加する提案を行った。SWG議長は、本評価方法がISDB-Tに特化した手法ではないため、他のシステムが活用できないか再検討出来ないかとコメントした。これに対しTeracomは、カバレッジ評価などは日本の考え方に基づくので、日本の寄書に賛成するとした上で、2.2.5 節のアンテナハイトの種類と、2.2.8 節のTypical consumer TV receiverの意味について質問した。これに対し日本は、アンテナハイトは測定ポイントにおける平均的な高さを1つ測定したと返答し、Typical consumer TV receiverについては市場の一般的なモデルを使用したと回答した。また、オーストラリアより、なぜ映像の観測時間をDVB-T2におけるSFPと同じ20秒としなかったのか質問があり、日本は、過去の経験則より30秒を用いたと返答した。

NDRから、今会合で改訂せず次会合に持ち越してはどうかとのコメントがあり、SWG議長も他のシステムの情報更新の時間を与えるため、Preliminaryにして議長レポート添付ではどうかと提案した。日本は異論なく承諾し、レポート改訂草案を議長レポート添付(6A/TEMP/27)として継続審議することに合意した。

・カバレッジ測定手法及びプランニング基準の評価に関するWP1Cからのリエゾン文書

入力文書：6A/88 (WP1C)

出力文書：6A/TEMP/44 (LS送付)

審議結果：

勧告ITU-R SM.1875-2の改訂に向けてDVB-T/T2のカバレッジ測定手法およびプランニング基準の評価を検討するためのCGを設置したことを周知するWP1Cからのリエゾン文書である。

SWG議長は、WP6Aでも同内容(6A/36 Annex1)を検討しているので、ジョイントCGを立ち上げてはどうかと提案した。オーストラリアが作成したDVB-T/T2のプランニング基準に関連するレポートや勧告の一覧を記載したWP1Cへのリエゾン返書案を審議し、一覧への追加をする修正を行った。SWG議長は、本テーマはWP6Aでも検討している項目であることから、WP1CのCGにWP6Aからも参加して連携を図っていくべきではないかと提案した。オーストラリアは、WP6Aは受信電界強度とカバレッジの関係などWP1Cとは違う手法で評価しており、重複しないように作業するべきであるとコメントした。これに対し、SWG議長は、重複の部分を今会合で見つけるのは難しいが、何もアクションを起こさないのはリスクがあると説明した。NDRより、WP1Cの会合は来年6月なので、WP6Aの次会合（来年3月）まで考える時間はあるとコ

メントしたが、SWG議長が、今会合でのリエゾン文書送付を希望した。WP6Aの次会合までにアクションは返ってこないため、StatusはWP6A議長が提案したfor considerationとし、コンタクトパーソンはWP6A議長のNafez氏（実際は、SWG議長（Sami氏）がWP1Cへ参加）として、リエゾン文書(6A/TEMP/44)の送付に合意した。

#### ○プランニング(12 件)

- ・ レポートITU-R BT.2382-0 改訂案「地上デジタル放送受信機への干渉の概要」  
入力文書：6A/36 Annex2 (前回議長レポート添付)、6A/118(CBS)  
出力文書：6A/128 (SG6 送付)  
審議結果：  
    レポートITU-R BT.2382-0 の改訂に関する議論である。  
    前会合でCBSは、Annex 4 として地上デジタル放送受信機内の相互変調の測定方法と解析結果の追加を提案し、レポート改訂草案を議長レポート添付(6A/36 Annex2)として継続審議となっていた。  
    今会合でCBS(6A/118)は、レポートITU-R BT.2382-0 の改訂案の上程を求める寄与文書を入力した。特段の意見がなかったため、SG6 へ送付した。
  
- ・ 勧告ITU-R BT.1368-12 改訂草案「VHF/UHF帯の地上デジタルテレビジョンサービスの混信保護比を含むプランニング基準」  
入力文書：6A/128 (中国)、6A/129(中国)  
出力文書：6A/TEMP/34 (議長レポート添付)  
審議結果：  
    中国(6A/128)は、Annex 4 に記載のDTMBの混信保護比について、帯域幅7MHzのプランニングパラメータを追記する提案を行った。  
    CBSより、今回の結果をレポートITU-R BT.2215「テレビ受信機の混信保護比と過入力閾値レベルの測定」にも入力してはどうかと提案があり、中国はレポートITU-R BT.2215 がどういうレポートか認識していないと返答した。SWG議長は、中国とCBSはオフラインで議論し、レポートITU-R BT.2215 に入力するかどうか次回のSG6 会合までに検討することとなった。また、CBSより、勧告の改訂であるため、勧告改訂草案として議長レポート添付にしてはどうかと提案があった。SWG議長も、今回は勧告改訂草案として、各国の主管庁やセクターメンバーに見てもらい、次会合で勧告改訂案にしてはどうかと提案したところ中国も快諾し、勧告改訂草案として議長レポート添付とすることで合意した。  
    また、中国 (6A/129)は、2015 年 7 月会合で第 1 世代のシステム勧告である

ITU-R BT.1306 に追加されたDTMB-Aのプランニング基準（帯域 8MHzのみ）をAnnex 5 として追加する提案を行った。

SWG議長は、先程の 6A/128 と同様に、レポートITU-R BT.2215 に入力するかどうか検討するよう指示した。オーストラリアより、AdvancedであるDTMB-Aは、第 1 世代の勧告ITU-R BT.1368 ではなく、第 2 世代の勧告ITU-R BT.2033 に入力してはどうかと提案したが、中国は主管庁の指示であると回答した。SWG議長は、本寄書も勧告の改訂であることから、次会合で勧告改訂案にしてはどうかと提案し中国も快諾した。

6A/128 と 6A/129 をマージした勧告改訂草案(6A/TEMP/34)を作成し議長レポート添付とし、継続審議することで合意した。

- ・ レポートITU-R BT.2383-0 改訂案「周波数共用および干渉評価のための 470-862MHzにおける地上デジタルテレビジョン放送の特性」

入力文書：6A/139 (BNE)

出力文書：6A/TEMP/54 (SG6 送付)

審議結果：

BNE(Broadcast Networks Europe)(6A/139)は、レポートITU-R BT.2383-0 に記載されているDVB-T/T2 の低電力時のアンテナパターンを変更する提案を行った。

SWG議長は、本レポートはJTG4-5-6-7 で作成したレポートであり、低電力のアンテナパターンの変更については、共用や互換性の検討にも使用できると考えるとコメントした。イランより、送信アンテナのアンテナパターンのことかとの質問があり、SWG議長は、送信アンテナではなく受信アンテナのことであり、また、隣接チャンネルの共用検討では、状況は異なってくると補足した。

BNEがTeracom等とオフラインで議論し、作成した勧告改訂草案の文書を審議した。フランスより、低電力時のアンテナ放射パターンの図を説明した文書の中で、10dBという表記は、アンテナ放射パターンの一番外側が 0dBであり、その内側は“－（マイナス）”が付くのが正しいのではないかとの質問があった。BNEは説明文の中で、directivityとしているので問題ないとした上で、gainに変更しても構わないと返答した。しかし、フランスは、アンテナgainはダイポールなど比較対象がある場合に使用するので、文章内容と合わないコメントした。そこで、BNEとフランスでオフライン会議を行い、アンテナパターンの図は変更せず、提案された放射パターンは無指向性の放射パターンと全体の利得は変わらないという文書を追加した修正案を再度審議した。

SWG議長は、Preliminaryを削除したレポート改訂案としてSG6 への送付を

提案し合意した。

・ MERを用いて干渉波電力を算出する手法を検討するCG

入力文書：6A/96 (WP3K)、6A/123 (オーストラリア)

出力文書：6A/TEMP/57 (議長レポート添付)、6A/TEMP/58 (LS送付)

審議結果：

WP3Kの6月会合で入力されたデジタルテレビサービスの受信信号品質のダクトの影響に関する寄与文書(3K/22)に対し、WP6Aへコメントを求めるリエゾン文書(6A/96)である。

オーストラリアが検討した、デジタルテレビの受信信号品質から対流圏ダクトの影響を推定する手法が記載されているため、オーストラリアが寄書の説明を行った。WP6A議長は、WP3KおよびSG3は、提案している測定手法による予測値の検証はできているか、また、MERを測定するのであれば、受信電界強度を直接測定できるのではないかと質問した。SWG議長は、提案されている測定手法の予測が正しいかどうかの検証が必要であり、そのためには、アンテナ高を変化させたり、測定ポイントを増やしたりするなど、MERの測定結果から干渉の影響の相関を長期間に渡って観測する必要があると返答した。また、CBSやイギリスは、受信電界強度では希望波と干渉波を別々に測定することが難しく、受信電界強度が高くてもMERが悪い場合があるので、MERで測定するのは妥当であるとコメントした。イランは、本件を検討するために、研究課題がないのであれば新しい研究課題を作るべきであること、WP3Kへのリエゾン文書に、今後も連携して行きたい主旨を含むべきであることをコメントした。SWG議長は、リエゾン文書を検討するDG設置(DG議長はJordan氏(Arqiva))を提案し、合意された。DGが作成した、WP6Aが興味を示している項目と、本会合での審議内容を含めたリエゾン文書案を審議した。コンタクトパーソンは、後ほど決めるとし、特段の異論なくリエゾン文書(6A/TEMP/58)の送付が合意された。

オーストラリア(6A/123)は、WP3Kからのリエゾン文書(6A/96)の背景などを補足する寄書であると説明した。

SWG議長は、WP3Kからのリエゾン文書をきっかけに、CGの設置を検討していると説明した。また、本CGは、MERを用いて同一チャンネル干渉における変則的な伝搬路の影響を評価する算出手法を検討するためのCGであり、CGのToRを記載した文書を作成したので審議したいと説明した。さらに、ToRを記載した文書のAnnexにはCGのメンバーを記載しているが、締め切ったわけではなく参加者を募集していること、コンタクトパーソンは相談中であり、後日決める予定であることを説明した。プレナリ会合にて、CG議長はHuber氏

(LS Telecom) となった。各ToRを審議し、エディトリアルな修正を行った後、議長レポート添付が合意された。

・ レポートITU-R BT.2386-0 改訂草案「SFNの設計と導入」

入力文書：6A/131 (中国)

出力文書：6A/TEMP/35 (議長レポート添付)

審議結果：

中国(6A/131)は、PTN(Packet Transmission Network)を用いたDTMBのSFNにおける時刻および周波数同期技術に関する提案を行った。

SWG議長は、新しい技術について感謝を述べると同時に、入力先の勧告/レポートの記載がなかったため今後どのように対処していくか確認したところ、SFNのレポートであるITU-R BT.2386-0 への追加はどうかとコメントがあった。SWG議長は、中国に対しレポートITU-R BT.2386-0 の改訂草案を作成するように指示した。作成後のレポート改訂草案を審議し、寄与文書の中に記載されていたコンタクト先は、レポートの中には記載されないのが削除することが提案され、修正後、レポート改訂草案(6A/TEMP/35)として議長レポート添付とすることに合意した。

・ レポートITU-R BT.2254-2 改訂草案「DVB-T2 の周波数プランニングとネットワーク」

入力文書：6A/141 (NDR)、6A/143(EBU)

出力文書：6A/TEMP/55 (議長レポート添付)

審議結果：

NDR(6A/141)は、レポートITU-R BT.2254「DVB-T2 の周波数プランニングとネットワーク」の 2.5 節に記載されている各種パラメータを用いたC/N値の計算手法について、2012年のレポート発行時の手法は古いことを指摘した。

SWG議長は、Staticチャンネルとレイリーチャンネルの所要C/Nが記載されており、ダイバーシティ受信の値も記載されているため大変有用な寄書であるとした上で、今後どのように対処していくのか質問した。NDRは、議長レポートに添付して継続審議にすることを提案した。CBSは、同じ結果をレポートITU-R BT.2215「テレビ受信機の混信保護比と過入力閾値レベルの測定」に入力してはどうかと提案し、オーストラリアは、勧告ITU-R BT.2033「VHF/UHF帯第2世代地上デジタルテレビジョン放送システムの混信保護比を含むプランニング基準」に入力してはどうかと提案した。これに対し、NDRは、ITU-R BT.2254-2の改訂のみを対象に考えていて、他のレポートの改訂まで検討していなかったと返答した。そこで、SWG議長は、他のレポート



の改訂も検討するため、議長レポートに添付してはどうかと提案し、NDRは了解した。

EBU(6A/143)は、レポートITU-R BT.2254-2 のTable2.7 (帯域幅 1.7MHz) に記載してあるガードインタバル長の値を間違えて記入していたため修正を提案した。

オーストラリアより、今まで実装で問題なかったのかと質問があり、ドイツは帯域幅 1.7MHzの受信機への実装は誰もやっていなかったので問題なかったと返答した。CBSより、テクニカルな内容なので議長レポート添付にしてはどうかと提案があり、EBUは、今回改訂したいと思っているが、同じレポートの改訂を提案しているNDRに確認した方がよいと返答した。

NDRとEBUの提案をマージしたレポート改訂草案の文書を審議した。Attachment 1 には、EBU提案のGI長の修正が記載されており、Attachment 2 には、NDR提案の測定値と計算値の所要C/Nの検討結果が記載されている文書である。特段の意見なく、レポート改訂に向けた要素として議長レポート添付とすることに合意した。

・カバレッジ予測に関するWP3Kからのリエゾン文書

入力文書：6A/95 (WP3K)

出力文書：なし

審議結果：

WP3Kからの、UHF信号を屋根の高さで測定した場合の、場所の違いによる変化に関するリエゾン文書である。

イギリスは、本リエゾン文書に記載されているカバレッジ予測に関する実験結果を、将来、勧告ITU-R P.1546 と勧告ITU-R P.1812 に反映する予定であると補足した。

SWG議長は、100m×100mという狭い範囲での受信電界強度がプランニング基準と 2.5~5.5dB違うことは重要な情報であるとした上で、WP3Kは、今回のタイミングで勧告改訂を提案していないこと、イギリスのみの特別な環境を対象としていることから情報としてNotedではどうかと提案した。イギリスは、SWG議長が述べたようにイギリスのみの話であることを強調し、Teracomは、受信電界強度はプランニングの重要なパラメータであるため、プランニングに 5.5dBを含めるべきであるとコメントした。WP6A議長は、リエゾン文書の最後に、勧告ITU-R P.1546 とITU-R P.1812 の改訂と書いてあり、今回の結果が勧告に追加されると、イギリスのみの特殊なケースではなく、一般的になると説明し、さらに、勧告ITU-R P.1812 はどういう勧告かわからないが、勧告ITU-R P.1546 の改訂につながることを危惧しているとコメントし

た。SWG議長は、今後どのような改訂になるかわからないので、引き続き情報をもたらうしないとコメントし、イギリスは、さらに多様な条件での測定が必要であり、勧告ITU-R P.1546の改訂は先になると返答した。SWG議長は、もしコメントの返信が必要でも今回ではなく次回WP6A会合でもよいと考えているため、情報としてNotedにすることを提案し、合意された。

- ・ 不要放射特性に関するWP5Dからのリエゾン文書（WP6Aはコピー送付）

入力文書：6A/44 (WP5D)

出力文書：なし

審議結果：

新レポート草案ITU-R SM.[CHAR-UNWANTED]「広帯域通信システムで使用されるデジタル変調技術に対する帯域外領域およびスプリアス領域における不要輻射の特性」に関するWP5DからWP1Aへのリエゾン返書である。

SWG議長より寄書説明があり、イギリスより補足説明があった。SWG議長がWP6Aにはfor informationであるためアクションは取らないことを提案し、異論なくNotedとされた。

#### ○一般(2件)

- ・ SG6に割り当てられたITU-Rハンドブックの廃止提案

入力文書：6A/116 (CBS)

出力文書：なし

審議結果：

CBS(6A/116)は、SG6に関連する古いITU-Rハンドブックの廃止提案を行った。

WP6Aに関連するハンドブックは5件あり、発行が2002年以前のものである（Handbook 39に関しては、2012年となっていたが、2002年の誤植）。廃止案は2件あり、特段の意見なく廃止に合意した。その他の現状確認2件、更新1件はそのままNotedされた。

- ・ 「selectivity threshold」の用語データベースへの登録

入力文書：6A/117 (CBS)

出力文書：6A/TEMP/56 (議長レポート添付)

審議結果：

CBS(6A/117)は、勧告ITU-R BT.2036に記載されている「selectivity threshold」を用語データベースに登録する提案を行った。

SWG議長より、この選択性閾値と混信保護比の違いは何かと質問があり、

Teracomは、勧告ITU-R BT.1368 で使用されるように混信保護比はプランニングに使用する値であり、選択性閾値は測定値であるため違うものであるとコメントし、CBSも選択性閾値は他の要素も含むとし、Teracomのコメントをサポートした。SWG議長は、混信保護比は測定結果に基づくプランニングを行うための値であり、選択性閾値は受信機における測定値であると認識したとコメントした。また、NDRやBBCも、混信保護比と選択性閾値は違うとしたものの、解釈が異なるため、オフラインで議論した後に作成したテキスト案を再度審議した。ドイツより、out of band powerとはどこを指すのかと質問があり、SWG議長は、希望波以外の妨害波が存在する全ての帯域であると説明した。希望波と妨害波が同一チャンネルなのかそれとも隣接チャンネルなのかよくわからないと意見があり、Teracomから、勧告に記載の用語を登録するので、もう一度よく考えるために継続審議にしてはどうかと提案があった。

SWG議長より、リエゾン文書草案として議長レポート添付し継続審議にするか、リエゾン文書案とするか判断が求められ、見直しの意見が多かったため、リエゾン文書草案(6A/TEMP/56)として議長レポート添付することに合意した。

最後に、WP6A議長が、CCVへの用語に関するリエゾン文書は、WP6Aから直接送付するのではなく、SG6 から送付することになるとコメントした。

#### ○技術(4 件)

- ・ 放送に用いる映像および音声の符号化に関するDVBからのリエゾン文書

入力文書：6A/147 (DVB)

出力文書：なし

審議結果：

放送に用いる映像および音声の符号化のDVB仕様に関するDVBからのリエゾン文書である。SWG議長がNotedを提案し、異論なくNotedされた。

- ・ HDRに関するWP6Cからのリエゾン文書

入力文書：6A/37 (WP6C)

出力文書：なし

審議結果：

HDRに関する新勧告案が承認されたことを知らせるWP6CからWP6A, 6BおよびITU-T SG9 へのリエゾン文書である。異論なくNotedされた。

- ・ 地上IMTによるテレビ配信に関するWP5Dからのリエゾン文書

入力文書：6A/43 (WP5D)

出力文書：なし

審議結果：

地上IMTによるテレビ配信に関するWP5DからWP6A, 6Bへのリエゾン文書である。SWG議長は、大変貴重な情報であるとした上で、特段の議論なくNotedされた。

- ・地上IMTシステムの映像音声アプリケーションに関するWP5Dからのリエゾン文書

入力文書：6A/149 (WP5D)

出力文書：なし

審議結果：

地上IMTシステムでサポートされている映像音声アプリケーションに関するWP5DからWP6A, 6Bへのリエゾン文書である。

特段の議論なくNotedされた。

### 3.2 保護 (SWG 6A-2)

SWG6A-2 では、入力文書をWPT(Wireless Power Transfer)、PLT(Power Line Telecommunication)、RFハザードの3つに分けて審議した。WPTとRFハザードに関する2つのDGを設置した。WPT関連は、DG 6A-2-1：議長J. Shaw氏(BBC)、RFハザード関連はDG 6A-2-2：議長W. Sami氏(EBU)とした。3回のSWG会合で32件の入力文書を審議し、1件のTEMP文書（リエゾン文書）を出力した。また、WPTとRFハザードのRGは継続とし、PLTとのRGは活動を終了した。

#### OWPT(Wireless Power Transfer)

- ・WPTに関するRGのToR

入力文書：6A/36 Annex9 (前回議長レポート添付)

出力文書：なし

審議結果：

特段の意見なくNotedされた。

- ・WP7DからWP1Aへのリエゾン文書（WP6Aはコピー送付）

入力文書：6A/52 (WP7D)

出力文書：なし

審議結果：

2015年6月にWP1AからWP7Dに対して、WPTに関するレポートITU-R SM.2303の改訂および新勧告案ITU-R SM.[WPT]の作成を行うRG設置の周知とRGへの寄与を呼びかけるリエゾン文書(6A/583)が送付されており、本寄書

はWP7DからWP1Aへの返書である。

NDRより、来週のWP7D会合が期限であるとコメントがあり、イランよりハーモニックとはWPT機器のハーモニックを指しているのかとの質問があった。これに対しドイツは、来週のWP7D会合に出席するので意図を確認するとコメントした。その他、BBCより第二次高調波が放送波に影響するのではないかとコメントあった。SWG議長がNotedを提案し、合意された。

・ WP5A, 5B, 5CからWP1Aへのリエゾン文書（WP6Aはコピー送付）

入力文書：6A/59 (WP5A, 5B, 5C)

出力文書：なし

審議結果：

WP5A, 5B, 5CからWP1AへのPLT, EMI, WPTに関するCENELECとのリエゾン文書である。

CENELEC会合に向けた情報のアップデートをWP1Aに求めるものであり、特段の議論なくNotedされた。

・ WP5AからWP1Aへのリエゾン返書（WP6Aはコピー送付）

入力文書：6A/66 (WP5A)

出力文書：なし

審議結果：

2015年6月にWP1AからWP5Aに対して、WPTに関するレポートITU-R SM.2303の改訂および新勧告案ITU-R SM.[WPT]の作成を行うRG設置の周知とRGへの寄与を呼びかけるリエゾン文書(6A/583)が送付されており、本寄書はWP5AからWP1Aへの返書である。

前述の6A/52に関連することから、特段の異論なくNotedされた。

・ WP1AからWP1B, 5A, 5B, 5C, 6A, 7A, 7Dからへのリエゾン文書

入力文書：6A/83 (WP1A)

出力文書：6A/TEMP/25 (LS送付)

審議結果：

WP1AからのWPT（研究課題ITU-R 210-3/1）に関する研究状況を周知するとともに、各WPに対して寄与を求めるリエゾン文書である。

WPTはWRC-19 課題 9.1.6 になっており、責任グループはWP1B、関係グループにWP6Aが含まれている。Doc.1/25 に記載のSM-2392 について、SWG議長がコメントやアクションの必要性を求めたところ、BBCは、用途に応じた周波数の選択やその背景などを確認する必要があるとコメントした。SWG

議長は、DGでのリエゾン返書案の作成を提案したところ、DG議長は一般的な返書になるかもしれないとした上で了解した。

また、SWG議長はscopeの部分で問題がある場合はDGで検討した結果をSWGに報告するよう指示した。

WPTのDGで作成されたリエゾン返書案を審議した。DG議長よりリエゾン返書案の説明があり、WP1AおよびWP1Bに対して高調波の問題を再度検討するよう求めるとともに、WPT用の周波数に対する規制の欠如していること、以前より高電力なWPTが免許が不要な状態で使用できることを指摘しているとのコメントがあった。エディトリアルな修正を行った後、リエゾン文書を送付することで合意した。

・ WP1AからWP5Aへのリエゾン返書（WP6Aはコピー送付）

入力文書：6A/84 (WP1A)

出力文書：なし

審議結果：

WP5Aからのリエゾン文書（6A/66）に対するWP1Aからのリエゾン返書である。イギリスは、6MHz帯は、色々なアプリケーションに使用されており、高電力で運用される可能性があるため注意が必要であるとコメントした。SWG議長は、DGで勧告案ITU-R SM[WPT]を確認し、結果をフィードバックするよう指示するとともに、6MHz帯はHF帯の放送帯域であるのか確認した。これに対し、イギリスはWPTではISM bandであるとコメントし、イギリスは、LF BandはFCCなどいくつかの主管庁では放送用として使用しているとコメントした。

・ WP1AからWP5Bへのリエゾン返書（WP6Aはコピー送付）

入力文書：6A/85 (WP1A)

出力文書：なし

審議結果：

WPT用の周波数帯域に関するWP5Bからのリエゾン文書（6A/649）に対するWP1Aからのリエゾン返書である。

SWG議長は、用途に応じた周波数配置を含む調和を持った高電力なWPTシステムと言うのは明確でないとコメントしたところ、BBCは確かに明確ではないと返答し、イギリスは6MHz帯での放射はないと明文化されているとコメントした。またイギリスは、モバイル端末への干渉に関する6MHz帯はWP5Bの所掌であるからWP5Bよりリエゾン文書を送付すべきであるとコメントしたため、Notedとなった。

- ・ WP1AからWP7Dへのリエゾン返書（WP6Aはコピー送付）

入力文書：6A/86 (WP1A)

出力文書：なし

審議結果：

WPT用の周波数帯域に関するWP7Dからのリエゾン文書（6A/52）に対するWP1Aからのリエゾン返書である。特段の意見なくNotedされた。

- ・ WP1BからWP1A, 5B, 6Aへのリエゾン文書

入力文書：6A/89 (WP1B)

出力文書：なし

審議結果：

WRC-19 議題 9.1、課題 9.1.6 に関するWP1Bの作業状況を周知するWP1A, 5B, 6Aへのリエゾン文書である。

本寄書には、最終回である 2018 年の第 5 回会合に向けた作業計画が示されており、SWG議長は、周波数配置などDGで再度検討するようコメントしたところ、BBCはLF帯などを見直した方がよいと返答した。また、SWG議長は、様々なWPがWPTに関連しており、放送の周波数に影響が無いよう注意する必要があるとコメントし、Notedとした。

- ・ WPTに関するラポータ報告

入力文書：6A/146 (RG on WPT)

出力文書：なし

審議結果：

WPTのラポータ（Shaw氏）は、WRC-19 課題 9.1.6（WPT関連）に関するITUおよび電気自動車用WPT標準化団体の最新動向に関する報告をした。また、勧告のAnnexにはEBUの共用検討結果が、また 1A/4 にはドイツの車を用いた測定結果が記載されていると説明した。SWG議長より、添付ファイルの1A/243 について、スプリアスをどのように検討したら良いのか質問があり、ラポータは 50W以下の充電中の場合であると補足した。EBUより、1A/243 に記載してあるEBUの結果は他の主管庁の結果と大きく異なっているため、その一つである日本の主管庁と連絡を取っている段階であり、WP1Aへのアクションは次回のWP6A会合後ではどうかと提案があった。SWG議長が、今回はアクションをせずに次会合まで継続審議とすることを確認し、合意された。

OPLT(Power Line Telecommunication)

- ・ アクセスネットワーク等に関するITU-T SG 15 からのリエゾン文書
  - 入力文書：6A/38(ITU-T SG15)、6A/39(ITU-T SG15)、6A/40(ITU-T SG15)、6A/99(ITU-T SG15)、6A/113(ITU-T SG15)、6A/114(ITU-T SG15)
  - 出力文書：なし
  - 審議結果：
    - ITU-T SG15 の研究課題 1/15 に関する、ANT（アクセスネットワークトランスポート）標準規格の概要と作業計画（6A/38）、HNT（ホームネットワークトランスポート）標準規格の概要と作業計画（6A/39）、ANT・スマートグリッド・HNT標準規格の概要と作業計画（6A/40）を知らせるITU-T SG15 からのリエゾン文書である。6A/113 は 6A/38 と同じ内容（ANT関連）であり、6A/114 は 6A/39 と同じ内容（HNT関連）である。
    - また、6A/99 は、勧告ITU-T G.9700 の改訂に関するITU-T SG15 からのリエゾン文書である。
    - 全ての入力文書について、特段の意見なくNotedされた。
  
- ・ ITUセクター間の協調に関するITU-T TSAGからのリエゾン文書
  - 入力文書：6A/57 (ITU-TSAG)
  - 出力文書：なし
  - 審議結果：
    - ITUセクター間の協調に関するリエゾン文書である。特段の意見なくNotedされた。
  
- ・ 電磁場の人体ばく露に関するITU-T SG5 からのリエゾン文書
  - 入力文書：6A/58 (ITU-T SG5)
  - 出力文書：なし
  - 審議結果：
    - ITU-T研究課題 7/5（無線システムや移動通信装置の電磁場による人体ばく露）の進捗を知らせるITU-T SG5 からのリエゾン文書である。特段の意見なくNotedされた。
  
- ・ 電磁場の人体ばく露に関するITU-D SG2 からのリエゾン文書
  - 入力文書：6A/72 (ITU-D SG2)
  - 出力文書：なし
  - 審議結果：
    - ITU-D研究課題 7/2（電磁場の人体ばく露に関する戦略及び制作）の進捗を知らせるITU-D SG2 からのリエゾン文書である。特段の意見なくNotedされた。



・ WP1Aからのリエゾン文書（全てWP6Aはコピー送付）

入力文書：6A/78(WP1A), 6A/80(WP1A), 6A/81(WP1A), 6A/82(WP1A)

出力文書：なし

審議結果：

ANT・スマートグリッド・HNTの情報提供に感謝を述べるWP1AからITU-SG5 へのリエゾン返書(6A/78)、無線通信業務に対する他の輻射電波からの影響調査に関するWP1AからWP1C, 3Lへのリエゾン文書(6A/80)、金属導体を使った通信システムからのRFノイズの漏洩と影響に関するWP1AからITU-T SG5 へのリエゾン文書(6A/81)、および勧告ITU-T K.60 の改訂に関するWP1AからITU-T SG5 へのリエゾン文書(6A/82)である。全ての寄与文書に対して、特段の意見なくNotedされた。

・ WP3LからWP1Aへのリエゾン文書（WP6Aはコピー送付）

入力文書：6A/97 (WP3L)

出力文書：なし

審議結果：

無線通信業務に対する他の輻射電波による影響調査に関するWP1Aからのリエゾン文書(6A/80)に対する、WP3LからWP1Aへのリエゾン返書(6A/97)である。特段の意見なくNotedされた。

・ PLTに関するRGからの活動報告

入力文書：6A/145 (RG on PLT)

出力文書：なし

審議結果：

RG議長であるShaw氏(BBC)より、PLTと一般的なEMC関連の干渉に関する最新動向をまとめた報告書であることが説明された。SWG議長より労いの言葉が述べられ、PLTに関するRGは終了することで合意した。

## ORFハザード

・ RFハザードに関するRGのToR

入力文書：6A/36 Annex10 (前回議長レポート添付)

出力文書：なし

審議結果：

特段の意見なくNotedされた。

- ・電磁場の人体ばく露に関するWP5Dからのリエゾン文書

入力文書：6A/42(WP5D)

出力文書：なし

審議結果：

ITU-T 研究課題 7/5（無線システムや移動通信装置の電磁場による人体ばく露）に関するWP5Dからのリエゾン文書である。特段の意見なくNotedされた。
  
- ・電磁場（EMFS）の人体ばく露に関するWP5A, 5B, 5Cからのリエゾン文書

入力文書：6A/62 (WP5A, 5B, 5C)

出力文書：なし

審議結果：

電磁場（EMFS）の人体ばく露に関するWP5A、5B、5CからSG5、WP5D、WP6Aへのリエゾン文書である。特段の意見なくNotedされた。
  
- ・RF人体ばく露等に関するATDIからの文書

入力文書：6A/45 (ATDI)、6A/70 (ATDI)

出力文書：なし

審議結果：

6A/45 は、2 地点間伝送システム周辺におけるRF人体ばく露について、これまでにイスラエルが入力した文書の情報を更新するものである。

Table 1 に記載してある 1.375f 1/2 の意味が不明であると質問があったが、返答出来る者は不在であった。特段の意見なくNotedされた。

6A/70 は、WHOの専門家グループが作成した非電離放射線の健康保護標準策定のための第一草案が添付されている文書である。

SWG議長より、アクションが必要かとの質問があり、RG議長であるSami氏は、コンタクトパーソンを決める必要があると返答した。SWG議長は、Mazar氏（イスラエル）にWHOとのコンパクトパーソンになってもらいSami氏がサポートするよう依頼した。SWG議長は、RFハザードに関するRGのToRを拡大する必要があるか検討するよう依頼した。
  
- ・WHOの健康保護標準策定に関するSG1 からのリエゾン文書（WP6Aはコピー送付）

入力文書：6A/76 (SG1)

出力文書：なし

審議結果：

6A/70 と同じ内容のWHOの健康保護標準策定のための第一草案について、

ITU PP決議 176「電磁場の人体ばく露と測定」はITUの3つのセクターで検討することとなっていることから、ITU-R SG1 からITU-T SG5, ITU-D SG2 に対してコメントを求めるリエゾン文書である。特段の意見なくNotedされた。

- ・RFハザードに関するRGからの活動報告

入力文書：6A/148(RG on RF Hazard)

出力文書：なし

審議結果：

RFハザードに関するRGからの活動を報告する文書である。SWG議長はRGに感謝を述べ、RGは継続することで合意した。

### 3.3 共用(SWG 6A-3)

SWG6A-3 では、放送と他業務との共用に関して、4回のSWG会合で19件の入力文書を審議した。レポート改訂案1件、リエゾン文書案7件の計8件のTEMP文書を作成した。

#### ○レポートITU-R BT.2337 改訂関連

- ・レポートITU-R BT.2337 改訂提案「470-694/698MHzにおける地上デジタル放送とIMTを含む広帯域移動アプリケーションとの共用と両立性に関する検討」

入力文書:6A/140 (CBS)、6A/151 (WP5D)

出力文書:6A/TEMP/47 (LS送付)

審議結果：

CBSより、レポートITU-R BT.2337の改訂は2015年の2月と7月の会合で改訂が議論された後、WP5DおよびSG5から回答がない状態なので、SG6に上程して改訂を進めたいという提案があった。それに対してイギリスより、両WPの合意を得る必要があると指摘があった。

また、WP5Dからのリエゾン文書(6A/151)で述べられている、本レポートの改訂前にIMT用のパラメータについて言及すべきであるというSG5の懸念に対して、イギリスはWP5DとWP6Aが協力して改訂へ向けた作業を進めるべきであるとコメントした。

結果として、11月のWP5Dの会合に間に合うように、WP6AからSG5へリエゾン文書(6A/TEMP/47)を送付することに合意した。

#### ○レポートITU-R BT.2301-1 改訂関連

- ・レポートITU-R BT.2301-1 改訂提案「放送業務と移動業務に共通一次分配された帯域における各国のIMT導入経験」

入力文書:6A/136 (フランス)

出力文書:6A/TEMP/33 (SG6 送付)

審議結果:

800MHz帯への欧州各国のIMTの導入経験をまとめたレポートITU-R BT.2301-1に、フランスでの調査結果を追加する改訂提案である。

フランスより、国内の800MHz帯のLTEサービスから地上デジタル放送への干渉について調査したところ、LTE基地局から干渉が観測された地点までの距離は短いため国境を超える問題にはならないこと、干渉はTVアンテナとチューナーの間にフィルタを入れることで改善することが報告された。イランから、700MHz帯のLTEサービスが新規に開始した場合には、別途フィルタが必要になるかという質問があり、フランスからケースによるが700MHz帯用のフィルタを追加するか、700/800MHz帯用のフィルタに変更するかなどの措置が必要になると回答があった。また、イギリスからは、国内の情報をレポートとして提供したことに対して謝意が表明された。

イランの提案で、改訂提案であることを明確にするため、タイトルをProposed updateからProposed draft revisionに変更した上で、レポート改訂案(6A/TEMP/33)をSG6へ送付した。

#### ○勧告ITU-R SM.1009-1 改訂関連

- ・WP1Aからのリエゾン文書（勧告ITU-R SM.1009-1 改訂提案「87-108 MHzにおける音声放送業務と108-137 MHzにおける航空業務の両立性」）

入力文書:6A/87 (WP1A)、6A/137 (ドイツ、ポルトガル)、6A/142 (BBC、EBU)

出力文書:6A/TEMP/52 (LS送付)

審議結果:

WP1Aからの、勧告ITU-R SM.1009-1の改訂について通知するリエゾン文書である。

ドイツ、ポルトガルは、近年の放送業務と航空航行業務の技術の発展を考慮し、より周波数効率が高くより柔軟な周波数両立性の検討モデルが必要であり、本勧告を更新すべきであると主張した。一方、BBCは、周波数バンドIIIにおける新しいデジタルラジオに関する情報の追加には理解を示したものの、アナログFMラジオに関する部分については改訂する必要はないとした。アメリカも、本勧告はこれまで十分機能しており、改訂にはリスクが伴うとして、改訂に賛成のドイツや賛成はするが現状部分を維持したいBBCでWP1Aへのリエゾン文書案を作成してはどうかと提案した。SWG議長はドイツに対して、Wolf氏（ドイツ）を議長とするDGにて具体的で建設的な提案を検討するよう求めた。

DGでの議論の結果、現時点ではSM.1009-1を改訂するのは時期尚早であり、

WP6Aの次会合で必要な放送用のパラメータを検討するとWP1Aへ伝えるリエゾン返書案を作成したが、具体的な文面については論点が明確でないまま、イラン、フランス、ドイツをはじめとする各国が修正案を次々と提案したため、SWG会合の場では議論が収束しなかった。その後、オフラインでの電子メールによるやりとりを経てリエゾン文書案が再度作成され、WP1Aへリエゾン文書(6A/TEMP/52)を送付することに合意した。

#### ○勧告ITU-R SM.851 改訂関連

- ・ WP1Aからのリエゾン文書（勧告ITU-R SM.851「VHFおよびUHF帯における放送業務と固定/移動業務の共用」の改訂）

入力文書:6A/90 (WP1A)、6A/120 (CBS)

出力文書:6A/TEMP/48 (LS送付)

審議結果:

WP1Aからの、WRC-19 議題 1.1「50－54MHz帯におけるアマチュア業務への周波数分配（第一地域）」の共用検討を進めるにあたり、勧告ITU-R SM.851の改訂を検討していることを周知するリエゾン文書である。

CBSより、WP1Aからのリエゾン文書に対して、本勧告の改訂を検討する際に必要となる放送関係の勧告、レポートの一覧を返答する寄書が入力された。これに対してイギリスからは、提供する情報は本勧告を全面的に改訂するためのものでなく、あくまでもWRC-19 議題 1.1 を検討するためのものである、という注釈をつける要望があり、BBCも、本勧告の修正は最小限に留めるよう明記すべきだと主張した。

また、イランより、Article 11により、国境以外の放送局は登録が義務付けられていないため、MIFR（Master International Frequency Register）のデータを使用するのは不適切であるとの指摘があったが、SWG議長より、WP5Aからのリエゾン文書で「data recorded in the MIFR」が求められていると説明した。

WP1Aへリエゾン文書(6A/TEMP/48)を送付することに合意した。

#### ○IMTと他システムの共用検討と互換性検討

- ・ WP5Dからのリエゾン文書（新勧告草案ITU-R M.[IMT.MODEL]「IMTと他システムの共用検討と互換性検討のためのIMTネットワークのモデル化とシミュレーション」）

入力文書:6A/94 (WP5D)、6A/121 (CBS)

出力文書:6A/TEMP/46 (LS送付)

審議結果:

WP5Dからの、IMTと他システムの共用検討と互換性検討のために、IMTネットワークのモデル化とシミュレーションに関する、新勧告草案ITU-R M.[IMT.MODEL]を作成していることを周知するリエゾン文書である。

CBSから、新勧告案では平均電力しか議論されていないが、放送への干渉はピーク電力を考慮する必要がある旨をWP5Dに伝えるリエゾン返書案が提案された。SWG議長は、WRC-19では放送用周波数の議題はなく、放送業務を所掌するSG6がこのモデルを扱う妥当性について疑問を呈したところ、EBUは、このモデルについて具体的なアクションを取る必要はないが、このモデルが勧告となった場合は長く残るものとなる。よって、このモデルがいつ、どのように放送業務に適用されるか、動向に注意する必要があるとコメントした。SWG議長は、WP6Aが積極的にこのモデルに関わることに懸念を示しつつ、CBSとEBUが中心となってDGで検討を進めるよう求めた。

DGでの検討結果を元に再度SWG会合で審議を行ったところ、EBUより、リエゾン返書ではWP5Dに対してWP6Aでも検討すべきことがあるため、情報を待っているということが伝わるようにすべきとコメントがあった。

上記を反映して、WP5Dへリエゾン文書(6A/TEMP/46)を送付することに合意した。

- ・ IMTの保護基準に関するWP4AからWP5Dへのリエゾン文書

入力文書:6A/112 (WP4A)

出力文書:なし

審議結果:

WP4AからWP5Dへ、IMTの保護基準に関する勧告、レポートの参照先や運用想定について問い合わせるリエゾン文書である。

特段の意見なく、Notedとなった。

- ・ IMTの保護基準に関するWP5DからWP4Aへのリエゾン文書

入力文書:6A/152 (WP5D)

出力文書:なし

審議結果:

WP4Aからのリエゾン文書(6A/112)に対するWP5Dから回答するリエゾン文書である。

EBUより、先週のWP5D会合で本件に関する新勧告案が承認されたが、移動体から放送業務への干渉が考慮されておらず、時間率を考慮したモデルを検討して我々が受け入れられる勧告とすることが重要であるとの発言があり、CBSも干渉について同様の懸念を表明した。

SWG議長は、SG3 とWP5Dが情報を交換し、WRC-19 議題 1.13「将来のIMTの発展のためのIMT用周波数特定の検討」を検討するTG5/1 会合の準備を進めているため、情報を得られるようにすべきであると述べ、Notedとなった。

#### OWRC-19 議題関連

- ・ WP7Bからのリエゾン文書（議題 1.3「460－470MHz帯における気象衛星業務への一次分配への格上げ及び地球探査衛星業務への一次分配の検討」）

入力文書:6A/48 (WP7B)、6A/68 (WP5A)、6A/119 (CBS)

出力文書:6A/TEMP/50 (LS送付)

審議結果:

WP7Bからの、WRC-19 議題 1.3 に関して「460-470 MHz帯で運用しているシステムやアプリケーションの一覧」、「460-470 MHz帯で運用している業務に関する共用検討用テキストの更新・追加」の情報を求めるリエゾン文書である。

CBSより、関連するITU-R勧告、レポート、ハンドブックの情報を提供するリエゾン文書案が示され、WP7Bへリエゾン文書(6A/TEMP/50)を送付することに合意した。

- ・ WP7Bからのリエゾン文書（議題 1.7「短期ミッション非静止軌道衛星による宇宙運用業務のための周波数ニーズの検討」）

入力文書:6A/47 (WP7B)、6A/69 (WP5A)

出力文書:6A/TEMP/51 (LS送付)

審議結果:

WP7Bからの、WRC-19 議題 1.7 に関して、1) 宇宙運用業務が既に分配されている帯域、2) 宇宙運用業務が新規分配を検討している帯域、に分配されている既存業務の技術特性や保護基準の情報提供を求めるリエゾン文書である。

WP7Bへ、関連するITU-R勧告、レポート、ハンドブックの情報を提供するリエゾン文書(6A/TEMP/51)を送付することに合意した。

- ・ WP5Aからのリエゾン文書（議題 1.1「50-54 MHz帯におけるアマチュア業務への周波数分配（第一地域）」）

入力文書:6A/67 (WP5A)

出力文書:6A/TEMP/49 (LS送付)

審議結果:

WP5Aからの、WRC-19 議題 1.1 に関して、第一地域において 50 – 54MHzで運用している放送局の情報提供を求めるリエゾン文書である。

BRの地上放送業務担当者から、現在運用中の放送局数については最新の調査結果が提供できるが、今後のデジタル移行計画については提供できる情報がない、と回答があった。また、ロシアからの提案で、ST61、GE89 での合意により、第一地域では2020年以降も50 – 54 MHz帯でアナログ放送もしくはデジタル放送を継続することが可能であることを明記することとなった。

上記を反映し、WP5Aヘリエゾン文書(6A/TEMP/49)を送付することに合意した。

- ・ Task Group 5/1 からのリエゾン文書（議題 1.13 「将来のIMTの発展のためのIMT用周波数特定の検討」）

入力文書:6A/65 (Task Group 5/1)

出力文書:なし

審議結果:

WRC-19 議題 1.13 を所掌するTask Group 5/1 からの、WRC-15 決議 238 の resolves to invite ITU-R 2 に記載されている対象周波数に関連する情報提供を求めるリエゾン文書である。

フランスから、本議題で対象となっている周波数帯域を放送業務で使用している国があれば（フランスでは使用していない）、TG 5/1 にリエゾン返書を送付する必要があるのではないかとのコメントがあった。これに対しSWG議長は、カウンセラーを通じて地上業務、衛星業務でこの周波数を登録している主管庁がないか確認して、リエゾン返書の必要性を判断すると述べた。Ofcom およびEBUは補足として、レバノンにおける 12GHz帯を使用した放送利用の例を挙げた。

確認の結果、登録されている放送局がなかったため、Notedとなった。

### 3.4 その他(SWG 6A-4)

SWG6A-4 では、4 回のSWG会合で 21 件の入力文書を審議した。勧告改訂草案 1 件、レポート改訂に向けた作業文書 2 件、リエゾン文書案 2 件、研究課題・レポートの廃止提案 1 件の計 6 件のTEMP文書を作成した。

#### ○用語の定義

- ・ CCV/SCVからのリエゾン文書（無線技術のアナログからデジタルへの移行に関する用語の定義）

入力文書： 6A/105 (CCV, SCV)、6A/104 (SG1)、6A/103 (ロシア)、  
6A/127 (イタリア, バチカン市国)

出力文書： 6A/TEMP/43 (LS送付)



審議結果：

CCV/SCVより、無線技術のアナログからデジタルへの移行に関する用語の定義について見解を求めるリエゾン文書である。

イタリア・バチカン市国、ロシアが “digital switchover”、“digital divide”、“digital dividend”の3つの用語の定義を提案する寄書をそれぞれ提出したため、3カ国でオフライン協議を行い、CCVへのリエゾン返書案を作成した。イランから、定義する用語の末尾に”(in digital terrestrial broadcasting)”と記載すると、固定業務など他の業務で同じ用語が定義された場合に混乱を招くとして、括弧書きの部分を削除するよう提案した。議論の結果、各用語の説明文の方に放送業務の観点からの定義であることを記載するとともに、用語を定義した表の下にも同様の注釈を記載することとなった。

Term	Definition
Digital switchover	The transition of a radiocommunication broadcasting service from analogue to digital technology.
Digital dividend	The improved efficiency in the use of the spectrum, consequential to the digital switchover.
Digital divide	The disparity of conditions between those populations that have widespread, easy and affordable access to digital broadcasting services and those that have difficult or no access.
NOTE: The terms contained in this table are merely and specifically relevant to broadcasting technology	

また、セルビアより、“Overload threshold”という用語が使われているITUテキストは、レポートITU-R BT.2215だけでなく、勧告ITU-R BT.2033やレポートITU-R BT.2265も存在することが指摘され、追記することで合意した。

上記を反映し、CCV/SCVへリエゾン文書(6A/TEMP/43)を送付することに合意した。

・ITU用語データベースへの収録候補

入力文書： 6A/106 (用語に関するSG6 レポート)

出力文書： 6A/TEMP/43 (SG6 送付)

審議結果：

用語に関するSG6 レポートより、ITU用語データベースへの収録候補をCCVに提案する文書である。

SWG議長は、収録候補のうちWP6Aの所掌である用語は、” Reception location probability”、” Coverage area”、” Receiver overload threshold”であることを確認した。

CBSより” Receiver overload threshold”の定義が勧告ITU-R BT.2036 とレポートITU-R BT.2215 とで違うという指摘があった。SWG議長は、BT.2036では一般的な意味として定義している一方、BT.2215は放送に特化した意味を定義しているとコメントした。それに対してイランは、BT.2036における定義は複数の解釈ができてしまい不完全であるとコメントし、フランスもそれに同意したため、イランとフランスがオフラインで定義について議論し、修正案を作成した。

内容について合意が得られたため、CCV宛の他のリエゾン文書(6A/TEMP/43)とマージして送付することに合意した。

・CCVからのリエゾン文書（2016年2月のCCV会合の結果について）

入力文書：6A/46 (CCV)

出力文書：なし

審議結果：

2016年2月のCCV会合の結果をSG及びWPIに伝えるリエゾン文書である。SWG議長より、SG6にラポータがいるため、特段のアクションは必要ないと意見が表明され、異論なくNotedとなった。

・ITU-D SG1からのリエゾン文書（「ブロードバンド」の定義）

入力文書：6A/110 (ITU-D SG1)、6A/150 (WP5D)

出力文書：なし

審議結果：

ITU-D SG1の研究課題2/1（開発途上国のためのIMTを含むブロードバンドアクセス技術）のラポータグループより、「ブロードバンド」という用語の定義に変更があれば情報を共有するよう求めるリエゾン文書。

特段の異論なくNotedとなった。

○勧告ITU-R BT.1871 改訂関連

・勧告ITU-R BT.1871 改訂草案「ワイヤレスマイクのユーザー要求」

入力文書：6A/122 (オーストラリア)

出力文書：6A/TEMP/30 (議長レポート添付)

審議結果：

オーストラリアより、自国のワイヤレスマイクで使用している周波数の最新

情報を勧告に反映する提案である。

オーストラリアは次会合までに各国がワイヤレスマイク用周波数の最新情報を入力できるように、勧告改訂草案を議長レポート添付(6A/TEMP/30)にすることを提案し、合意した。

#### ○勧告ITU-R BT.1872 改訂関連

- ・ 勧告ITU-R BT.1872 改訂に向けた入力「デジタルENGのユーザー要求」

入力文書:6A/132 (アメリカ)

出力文書:6A/TEMP/30 (議長レポート添付)

審議結果:

アメリカより、勧告ITU-R BT.1872 に「ワイヤレスマイクおよびそれに類するデバイスでの集音のためのユーザー要求と技術パラメータの例」という表を追加する提案である。

オーストラリアからBT.1872 はワイヤレスカメラに特化したものでありWP5Cとの調整も必要となるので、ワイヤレスマイクについての情報の更新であれば勧告ITU-R BT.1871 に反映すべきであるとの意見が出された。これに対してアメリカは、ワイヤレスマイクが放送業務だけでなく移動業務でも使用されることが多くなってきた背景があり、SG5 などと協議して本寄書を作成しており、情報の入力先はBT.1871 でも構わないが、SG5、WP5A、WP5Cへのリエゾン文書を送付し、放送業務と移動業務の架け橋となることが重要であると述べた。

オーストラリアとアメリカでオフラインの議論を行った結果、勧告ITU-R BT.1872 ではなく勧告ITU-R BT.1871 のAnnex2 のみ改訂することで合意し、勧告改訂草案として議長レポート添付(6A/TEMP/30)となった。

#### ○レポートITU-R BT.2344-0 改訂関連

- ・ レポートITU-R BT.2344-0 改訂草案に向けた作業文書「放送で利用されるSAB/SAPの技術的なパラメータ、運用特性および展開シナリオ」

入力文書:6A/133 (アメリカ)

出力文書:6A/TEMP/31 (議長レポート添付)、6A/TEMP/42 (LS送付)

審議結果:

アメリカより、レポートBT.2344-0 に自国のワイヤレスマイク用周波数の情報を追記する提案である。最新の情報を提供することに対して、オーストラリアから歓迎の意が示された。

レポート改訂草案に向けた作業文書(6A/TEMP/31)として議長レポート添付に合意するとともに、改訂を知らせるWP5AとWP5Cへのリエゾン文書

(6A/TEMP/42)の送付に合意した。

#### ○レポートITU-R BT.2069-6 改訂関連

- ・ レポートITU-R BT.2069-6 改訂草案「ENG、TVOB、EFPの調和周波数と運用特性」

入力文書:6A/134 (アメリカ)

出力文書:6A/TEMP/41 (議長レポート添付)、6A/TEMP/42 (LS送付)

審議結果:

アメリカより、自国のSAB/SAP用システムの運用状況の追記を提案するものである。オーストラリアは、この変更が及ぼす影響を各国の機関が確認できるよう議長レポート添付とすることを提案し、SWG議長もこれに同意した。また、オーストラリアがイントロダクションに特定の企業の名前が入ることに懸念を示したため、企業名を削除することとなった。

レポート改訂草案に向けた作業文書(6A/TEMP/41)として議長レポート添付に合意するとともに、改訂を知らせるWP5AとWP5Cへのリエゾン文書(6A/TEMP/42)の送付に合意した。

#### ○研究課題の見直し

- ・ SG6 に割り当てられた研究課題の検討

入力文書: 6A/107 (SG6 議長)

出力文書: なし

審議結果:

SG6 議長より、研究課題の重複やWPの所掌逸脱などを確認し、各WPで研究課題を見直すよう要請する文書である。

SWGの場で議論が行われたが、WP6Aの研究課題ITU-R 56/6、ITU-R 80/6、ITU-R 132/6 からWP6Bの所掌である” multiplexing” を除外すべきところを、研究課題そのものを廃止する提案が出るなどの誤解があったため、SWG議長の判断により、本件については各国が具体的な検討案を提案できるよう 3 月の次会合で議論することとなった。

#### ○レポート廃止案

- ・ 古いITU-R BTシリーズレポートの廃止検討

入力文書: 6A/115 (CBS)

出力文書: 6A/TEMP/32 (議長レポート添付)

審議結果:

内容が古くなったBTシリーズのレポートを廃止すべきというCBSからの提

案である。

廃止提案対象のレポートは、以下の3件となる。

- ・ BT.628-4 「Automatic monitoring and control of television operation」
- ・ BT.802-3 「Additional services using broadcasting channels」
- ・ BT.804-0 「Definitions of parameters for automatic measurement of television insertion test signals」

イランより、慌てて廃止する必要がなければ、3月の会合で十分に審議した上でSG6に上程してはどうかとの提案があった。SG6議長より、廃止理由は「古い」だけでなく、合理的な内容として欲しいとの要請があり、WP6A議長は廃止提案対象の3件のレポートは全てアナログ放送に関係するものであると返答した。またWP6A議長より、継続審議中のテキストであることを明確にすべきとの指摘があったため、イランより、標題の先頭にPotentialを付け、”Potential Suppression of ITU-R Reports in the BT-series” としてはとの提案があり、反映された。

レポート廃止の検討案(6A/TEMP/32)として議長レポート添付とすることに合意した。

## ○その他

- ・ WP1Bからのリエゾン文書

入力文書: 6A/74 (WP1B)

出力文書: なし

審議結果:

WP1BからWTDC決議 9 (開発途上国の周波数管理への参加)に関するITU-R/ITU-Dジョイントグループへのリエゾン文書である。(WP6Aへは情報共有のためコピー送付)

特段の異論なくNotedとなった。

- ・ コグニティブ無線システムの周波数管理に関するWP1Bからのリエゾン文書

入力文書: 6A/75 (WP1B)

出力文書: なし

審議結果:

WP1BからITU-Rの各WPに対して、新レポート草案ITU-RSM.[CRS SPECTRUM MANAGEMENT CHALLENGES] (コグニティブ無線システムを用いて周波数帯へ動的にアクセスする際の周波数管理の原理、課題)に向けた作業文書の作業進捗を知らせるものである。

特段の異論なくNotedとなった。

・ デジタル放送の導入が制度システムへ与える影響

入力文書： 6A/102 (インドネシア)

出力文書： なし

審議結果：

インドネシアからの入力であり、現在デジタル技術を放送業界に導入しようとしている国における、規制ためのシステムを議論するものである。

インドネシアからの参加者がいなかったため、SWG議長が寄書を説明した。オーストラリアは、アジア太平洋地域の多くの国が新技術を維持していけるか不安を抱いていると指摘し、地上デジタル放送移行の参考となるテキストを紹介することで貢献することができるとコメントした。

本寄与文書の公式の結果としてはNotedとした上で、カウンセラーからインドネシアへ、オーストラリアが作成したテキスト一覧を非公式に電子メールで送付することとなった。

・ 勧告ITU-R BO.1774 に関するWP4Bからのリエゾン文書

入力文書： 6A/54 (WP4B)

出力文書： なし

審議結果：

WP4BからWP6Aに対して、勧告ITU-R BO.1774「公衆への警報周知、災害の軽減・防止のための衛星・地上放送インフラの利用」の改訂を連絡するリエゾン文書である。

提案はエディトリアル修正のみであり、異論なくNotedとなった。

・ アナログ放送からデジタル放送への移行に関するITU-D SG1 からのリエゾン文書

入力文書： 6A/55 (ITU-D SG1)

出力文書： なし

審議結果：

ITU-D SG1 の研究課題 8/1（アナログ放送からデジタル放送への移行と新サービスの導入に関する戦略や手法の調査）に関するラポータグループからWP6Aに対し、レポートITU-R BT.2140「アナログ放送からデジタル放送への移行」のバージョンアップに関する情報を求めるリエゾン文書である。

SWG議長は、数会合前にWP6Aからデジタル放送移行関連資料の参照先をITU-D SG1 へ連絡しており、新たに提供できる情報はDTTBハンドブック程度であるため、返信する必要はないのではとの見解を示した。

特に異論はなく、Notedとなった。

・ ITU-D SG1 からのリエゾン文書

入力文書： 6A/93 (WP5D)

出力文書： なし

審議結果：

2014 年から 2017 年のITU-D研究会期におけるWTDC決議 9（開発途上国の周波数管理への参加）の作業進捗に関する、WP5DからITU-R /ITU-D WTDC 決議 9 に関するジョイントグループへのリエゾン文書である。（WP6Aへは情報共有のためコピー送付）

特に異論なくNotedとなった。

・ ITU-D SG2 からのリエゾン文書

入力文書： 6A/157 (ITU-D SG2)

出力文書： 6A/TEMP/53 (LS送付)

審議結果：

ITU-D SG2 の研究課題 5/2「防災、減災、災害対応のための電気通信／ICT 利活用」に関する新レポート草案を知らせるWP6Aへのリエゾン文書である。

SWG議長は、新レポート草案の中で放送に関する情報を扱っているのは 2.5 章だが、現時点でほとんど記載がないとコメントした。また、ITU-D SG2 は WP6Aに関連するテキストの情報を求めているため、ラポータグループが 1 月のITU-D SG2 の次会合で提供することを提案した。Babcockは、レポートITU-R BT.2299「公衆への警報周知、災害の軽減・防止のための放送」から情報を提供するのがよいとし、また、WP6Aが現在新勧告草案ITU-R BS.[IRDR] "Use of International Radio for Disaster Relief (IRDR) frequencies for emergency broadcasts in the short wave bands"を作成しており、特定の短波放送用周波数を緊急放送のために確保する検討を進めている旨をリエゾン返書案に記載するとコメントした。

ITU-D SG2 へリエゾン文書(6A/TEMP/53)を送付することに合意した。

### 3.5 音声(SWG 6A-5)

SWG6A-5 では、2 回のSWG会合で 10 件の入力文書を審議し、5 件のTEMP文書を出力した。1 件をSG6 へ送付、4 件を議長レポート添付とした。マルチプレクス電力に関するRG(議長：E.Stephane氏(フランス))は継続することとなった。

#### ○デジタル音声放送システム

- ・ レポート改訂案ITU-R BS.2214-1「VHF帯における地上デジタル音声放送システムのプランニングパラメータ」

入力文書：6A/36 Annex 3(前回議長レポート添付)

出力文書：6A/TEMP/36 (SG6 送付)

審議結果：

前回議長レポート添付となっていたレポートITU-R BS.2214-1「VHF帯における地上デジタル音声放送システムのプランニングパラメータ」の改訂に関する議論である。前回寄書を入力したロシアより、もし修正が無ければ上程してほしいとコメントがあった。特段の意見が出なかったため、Preliminaryを削除し、レポート改訂案(6A/TEMP/36)をSG6へ送付した。

- ・ 勧告ITU-R BS.1114-9 改訂草案「30-3000MHz帯の車載、ポータブル、固定受信機向けの地上デジタル音声放送システム」

入力文書：6A/130 (中国)、6A/144 (EBU)

出力文書：6A/TEMP/37 (議長レポート添付)

審議結果：

勧告ITU-R BS.1114-9の改訂に関する議論である。

中国(6A/130)は、自国の音声放送方式であるCDR (Convergent Digital Radio)をDigital System Xとして追加する改訂提案について説明し、EBU(6A/144)は、Annex 2に記載されているDigital System A(DAB)の情報を更新する改訂提案について説明した。SWG議長からEBUに対して、改訂内容はSystem Aだけかとの確認があり、EBUはその通りと返答した。またドイツより、緊急情報に関する質問があり、EBUは従来通りファースト・インフォメーション・チャンネルに含まれるか、アンシラリデータに含まれるので問題ないと返答した。

中国とEBUの提案をマージしたTEMP文書を審議したところ、ドイツより、Digital System Xの横に記載されているシステム名(CDR)を削除する提案と、Digital System XのXはきちんとナンバリングした方が良いと提案があった。BBCより、他のSystemにはシステム名は入っていないので、(CDR)の削除に賛成するとコメントがあり、中国は、ドイツの2つの修正提案に問題ないと返答した。アメリカより、Table 1のDigital System C(IBOC)について、2箇所のエディトリアルな修正を提案したいとコメントがあり、SWG議長がこれを承認した。(CDR)を削除し、Digital System XのXをリナンバリングした上で、勧告改訂草案(6A/TEMP/37)として継続審議することに合意した。

- ・ 新勧告ITU-R BS.[IRDR]草案「短波帯での緊急放送のための国際災害救援放送



## (IRDR) 周波数の利用」

入力文書：6A/101 (HFCC)、6A/109 (BBC)

出力文書：6A/TEMP/39 (議長レポート添付)

審議結果：

HFCC（短波周波数調整会議）(6A/101)からの国際災害救援放送（IRDR）周波数の利用に関するITU-R勧告化の提案である。Babcockは、新勧告案のAnnex 1 に短波放送周波数（7 400～21 840kHz）の各バンド毎に緊急放送用としてリザーブすべきIRDR用周波数が記載されていると説明した。BBC(6A/109)は、HFCCの提案を支持し、特段の異論なく新勧告草案(6A/TEMP/39)として継続審議することに合意した。

## ○マルチプレクス電力

前会合でFM放送のマルチプレクス電力に関するRGが設置され、FM音声放送に与えるマルチプレクス電力の影響について測定キャンペーンを実施していた。

### ・ラポータグループ 11 からの活動報告

入力文書：6A/36 Annex5 (前回議長レポート添付)、6A/36 Annex7 (前回議長レポート添付)、6A/153 (RG-11)

出力文書：なし

審議結果：

RG議長（フランス）より、前回議長レポートAnnex 5 は測定キャンペーンに関する文書、Annex 7 はRGのToRに関する文書、6A/153 は進捗状況を示した文書であると説明があった。また、測定キャンペーンに対して、入力文書が1件もなかったが、ITUのWebサイト上で意見を求めるなどアプローチを変えて継続したいとコメントした。SWG議長は、RGで再度測定キャンペーンの内容を検討し、SG6 の議長レポート添付にするのはどうかと提案した。一方WP6A議長は、測定キャンペーンを再実施しても同じ結果になるのではないかと懸念を示したが、フランスは、再度測定キャンペーンを実施して同じ結果になった場合は、RGの活動を終了させるとコメントした。

RG11 のメンバーが測定キャンペーンの質問内容を検討した結果を再審議した。アメリカ及びBBCより、この質問内容では前回と同じように測定キャンペーンに参加する主管庁・セクターメンバーはいないのではないかと懸念を呈したところ、RG議長は、議長レポートに添付するとともに、ITUのWebサイトにも掲載するなど、周知するやり方を工夫すると返答した。しかし、フランスをはじめ質問の内容改善を求める多数の意見があり、RG議長は今会合での修正は難しいので、継続審議出来るよう議長レポート添付を希望した。最終的に、測定キャンペーンに関してはNotedとし、RGは次会合まで継続することとなった。

## ○その他

- ・ SG6 の新オピニオン草案「スマートフォン、タブレットにおけるラジオ受信機能のアクティベーション」

入力文書：6A/125 (NABA)

出力文書：6A/TEMP/38 (議長レポート添付)、6A/TEMP/40 (議長レポート添付)

審議結果：

NABA (North America Broadcasters Association) からの、「スマートフォンへのラジオ受信機能の付加を推進する」という新オピニオンの提案である。また、Attachment 1 には、SG6 の新しいオピニオンの提案が記載されており、Attachment 2 には、レポートITU-R BT.2299「公衆への警報周知、災害軽減・防止のための放送」の改訂草案が記載されていると説明した。

EBUから本寄書をサポートするとコメントが有り、BBCより、今会合では時間がないので、Preliminaryとして議長レポート添付にしてはどうかとの提案があった。WP6A議長より、2つのAttachmentは別々のTEMP文書に分けて欲しいとの要望があり、Attachment 1 をSG6 の新オピニオン草案(6A/TEMP/40)、Attachment 2 をレポートITU-BT.2299 改訂草案(6A/TEMP/38)として、継続審議することに合意した。

- ・ ハンドブックの見直し提案

入力文書：6A/116 (CBS)

出力文書：なし

審議結果：

CBSより、ハンドブックの見直しをする提案であると説明があり、SWG6A-5 の所掌である音声放送に係るHandbook 33 と 38 について確認したところ、最後の改訂が 15 年以上前であった。ドイツより、WP6Bプレナリでも、同じ寄書の議論をしており、廃止しても電子版がWebで閲覧できるかカウンセラーに確認しているとのコメントがあった。それ以上の議論はなく、Noted となった。(同寄書をSWG1 でも審議)

### 3.6 DTTBハンドブック(Ad-hoc Group 1)

Ad-hoc Group1 では、3回の会合でDTTBハンドブックの全章の審議を行った。全章承認され、上程されることとなった。

## ODTTBハンドブック

・ DTTBハンドブック案「地上デジタル放送網とシステムの導入」

入力文書：6A/36 Annex 4 (前回議長レポート添付), 6A/36 Annex 11 (前回議長レポート添付), 6A/135+Annex 1-17 (CG)

出力文書：6A/TEMP/45+Annex 1-17 (SG6 送付)

審議結果：

共同議長であるDosch氏（ドイツ）は、前回WP6A会合時の内容から不要な章を削除し、関連する章を統合するなどして、構成を大幅に改善させたと説明した。また共同議長より、Gofaizen教授（ウクライナ）をはじめとする貢献者に対し、感謝の意が表され、日本の津田氏（NHK）と根岸氏（NHK）の名前が挙げられた。

エディトリアルな修正とタイから追加の寄書をマージした文書を最終的に確認した。また、従来のDTTBハンドブックは伝搬に関する重要な情報を多く含んでおり今からデジタル放送を導入する国にとって有益な情報も多いため、今後も電子版を無料提供できるようBRに依頼した。オーストラリアより、新しいハンドブックのタイトルは何とするのかとの質問があり、共同議長は「Handbook on Digital Terrestrial Television Network and System Implementation」とすると返答した。

全ての文章を確認後、新ハンドブック案をSG6に送付した。

#### 4. あとがき

今会合は、通常の 5 つのSWGに加え、DTTBハンドブックを審議するアドホックグループも設置された。5 件のレポート改訂と 1 件の新ハンドブックの他、12 件のリエゾン文書を送付するなど、成果の多い会合であった。

日本からは、2 件の寄与文書を入力した。

1 件目は、各国のUHDTV地上波野外伝送実験結果をまとめたレポートITU-R BT.2343-1「DTTネットワークにおけるUHDTVの野外実験のコレクション」にリオ五輪期間中にブラジル国内で行った地上波を用いた 8K伝送のパブリックビューイングについて追加する改訂提案であり、レポート改訂案がSG6 へ送付された。

2 件目は、地上デジタル放送の客観的なカバレッジ品質評価の基本情報が記載されているレポートITU-R BT.2252-2「地上デジタル放送のシステムA、BおよびDの信号に関する客観的なカバレッジ品質評価」にISDB-Tの章を新たに設け、日本で実施した「新たな難視聴地域の確認調査」の要領をカバレッジ評価法として追加する提案であり、レポート改訂草案を議長レポートに添付して継続審議することになった。次会合ではレポート改訂案としてSG6 へ送付されるよう議論をしていく。

また、2008 年 10 月会合で作成が開始された地上デジタル放送およびマルチメディア放送の導入に関するハンドブックについて、日本もドラフティングに参加し、各国の情報を取りまとめる作業を行ってきたが、今会合で全ての章を確認し、DTTBハンドブック案がSG6 へ送付された。

今後の会合に向けて、第 1 世代以降のDTTBシステムのカバレッジ評価を含む特性評価手法に関するコレスポネンスグループと、MERを用いた同一チャンネルにおける異常伝搬の影響を評価に関するコレスポネンスグループへ参加する。また、UHDTVの伝送設備に関する情報を寄与するなどして放送業務に関連した周波数利用をアピールするとともに、WPの研究課題を精査するなどして、WP6Aの活動に貢献していく。

以上

表 1 日本からの出席者 (5 名)

氏名	所属
佐々木 智昭	総務省 情報流通行政局 放送技術課 国際係
根岸 聡	日本放送協会 技術局 計画部 副部長
三谷 将	日本放送協会 技術局 計画部
西田 幸博	日本放送協会 放送技術研究所 テレビ方式研究部 研究主幹
成清 善一	日本放送協会 放送技術研究所 伝送システム研究部

表 2 入力文書 (154 件)

	入力 文書番号	提出元	文書名	審議 (SWG 6A-)	処理 文書番号 (6A/TEMP/)
1	6A/36	Chairman, WP6A	Report of the meeting of Working Party 6A (Geneva, 25 January - 3 February 2016)	—	—
2	An.1	Chairman, WP6A	Working document towards a new Recommendation ITU-R BT.[BEYOND1stGEN] - Methodology for performance evaluation of digital television broadcasting beyond 1st generation DTTB systems, including assessment of coverage	SWG6A-1	6A/29
3	An.2	Chairman, WP6A	Preliminary draft revision to Report ITU-R BT.2382-0 - Description of interference into a digital terrestrial television receiver	SWG6A-1	6A/28
4	An.3	Chairman, WP6A	Preliminary draft revision to the Report ITU-R BS.2214-1 - Planning parameters for terrestrial digital sound broadcasting systems in VHF bands	SWG6A-5	6A/36
5	An.4	Chairman, WP6A	Preliminary draft Handbook on Digital Terrestrial Television and Multimedia Broadcasting Implementation	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/45
6	An.5	Chairman, WP6A	Invitation to ITU-R membership for a measurement campaign of the impact of the multiplex power of FM sound broadcasting	SWG6A-5	Note
7	An.6	Chairman, WP6A	Work plan related to WRC-15 Resolutions and Recommendations	SWG6A-3	—
8	An.7	Chairman, WP6A	Proposed revision of ToR of RG11	SWG6A-5	Note
9	An.8	Chairman, WP6A	Possible establishment of a Rapporteur Group on wrc-19 agenda items and issues	SWG6A-3	—
10	An.9	Chairman, WP6A	Terms of Reference of the Working Party 6A Rapporteur on Wireless Power Transfer (WPT) issues	SWG6A-2	Note
11	An.10	Chairman, WP6A	Terms of reference of the Working Party 6A Rapporteur Group on RF hazard issues	SWG6A-2	Note
12	An.11	Chairman, WP6A	Establishment of a Correspondence Group on completion of Handbook on digital terrestrial television and multimedia broadcasting implementation	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/45
13	An.12 (Rev.1)	Chairman, WP6A	Rapporteurs, Rapporteur Groups and Correspondence Groups of Working Party 6A	—	—
14	An.13	Chairman, WP6A	Liaison statements to other fora	—	—
15	6A/37	WP 6C	Liaison to ITU-R Working Party 6A, Working Party 6B and ITU-T Study Group 9 - High dynamic range television (HDR-TV)	SWG6A-1	Note
16	6A/38	ITU-T SG 15	Liaison statement on the latest versions of the Access Network Transport (ANT) - Standards overview and workplan	SWG6A-2	Note
17	6A/39	ITU-T SG 15	Liaison statement on the latest versions of the Home Network Transport (HNT) - Standards overview and workplan	SWG6A-2	Note
18	6A/40	ITU-T SG 15	Liaison statement on the latest version of the Access Network Transport (ANT), Smart Grid and Home Network Transport (HNT) - Standards overview and workplans	SWG6A-2	Note
19	6A/41	WP 5D	Reply liaison statement to IRG-AVA (copy for information to ITU-R Working Parties 1B, 5A, 6A, Study Group 5, ITU-T Study Groups 9 and 16) - Barriers to wireless connections for hearing aids and medical devices	SWG6A-3	Note

20	6A/42	WP 5D	Reply liaison statement to ITU-T Study Group 5, ITU-D Study Group 2, ITU-R Working Party 6A (copy for information to Working Parties 3L, 1B, 1C, 5A, 5B, 5C) on information about work that is being carried out within work under study in ITU-T Q7/5 (Human exposure to electromagnetic fields (EMFS) due to radio systems and mobile equipment)	SWG6A-2	Note
21	6A/43	WP 5D	Liaison statement to Working Parties 6A and 6B (copy to ITU-D/ITU-R Joint Rapporteur Group for Resolution 9 and ITU-D Study Group 1 Q8/1) - Television distribution using terrestrial International Mobile Telecommunication (IMT) networks	SWG6A-1	Note
22	6A/44	WP 5D	Liaison statement to Working Party 1A (copy for information to Working Parties 1B, 1C, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 6A, 7B, 7C AND 7D) - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[CHAR-UNWANTED]	SWG6A-1	Note
23	6A/45	ATDI	RF Human exposure - Exposure distances around Point to Point Systems	SWG6A-2	Note
24	6A/46	Chairman, CCV	Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties	SWG6A-4	Note
25	6A/47	WP 7B	Liaison statement to Working Parties 4A, 4C, 5A, 5B, 5C and 6A concerning WRC-19 agenda item 1.7 (copy for information to Working Party 1A, Working Party 3M and Working Party 4B) - WRC-19 agenda item 1.7	SWG6A-3	6A/51
26	6A/48	WP 7B	Liaison statement requesting technical characteristics for WRC-19 agenda item 1.3 from Working Parties 4C, 5A, 5B, 5C, 5D and 6A (copy to Working Party 3M for information)	SWG6A-3	6A/50
27	6A/49	WP 7D	Liaison statement to Working Parties 3K and 3M (for action) and Study Group 5 and Working Parties 1A, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A and 7C (for information)	SWG6A-3	Note
28	6A/50	WP 7C	Liaison statement to Working Parties 5A, 5B and 6A - Technical and operational characteristics for systems operating within the 40-50 MHz frequency band	SWG6A-3	Note
29	6A/51	WP 7C	Liaison statement to Working Party 4A (Copy to Working Parties 4B, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7D and 3M) - WRC-19 agenda items 1.5 and 1.6	SWG6A-3	Note
30	6A/52	WP 7D	Liaison statement to Working Party 1A (Copy to Working Parties 1B, 5B, 5C, 6A and 7A) - Radio frequency ranges for wireless power transmission using technologies other than radio frequency beam	SWG6A-2	Note
31	6A/53	Chairman, SG 6	Proposed Chairman of Working Party 6B of Study Group 6	WP6A	Note
32	6A/54	WP 4B	Liaison statement to Working Party 6A and Study Group 6 on editorial amendment to Recommendation ITU-R BO.1774-2 - Use of satellite and terrestrial broadcast infrastructures for public warning, disaster mitigation and relief	SWG6A-4	Note
33	6A/55	ITU-D SG 1	Liaison statement on the transition from analogue to digital television broadcasting	SWG6A-4	Note
34	6A/56	WP 4B	Reply to liaison statement from Working Party 6B (Copy to Working Parties 6A and 6C) - Information bit rate of transmission systems for UHD TV satellite broadcasting	SWG6A-1	Note
35	6A/57	ITU-T TSAG	Liaison statement on ITU inter-Sector coordination [to ISCT, TDAG, ITU-D SGs, RAG, ITU-R SGs, ITU-T SGs]	SWG6A-2	Note
36	6A/58	ITU-T SG 5	Liaison statement on information about work that is being carried out within work under study in ITU-T Q7/5	SWG6A-2	Note
37	6A/59	WPs 5A, 5B and 5C	Liaison statement to Working Party 1A (copied to Working Parties 5D and 6A for information) - Liaison with CENELEC on PLT, EMI and WPT	SWG6A-2	Note

38	6A/60	WP 5B	Reply liaison statement to Working Party 7B (copy for information to Working Parties 1A, 3M, 4A, 4B, 4C, 5A, 5C and 6A) - WRC-19 agenda item 1.7	SWG6A-3	Note
39	6A/61	WPs 5A and 5C	Liaison statement to Working Party 7C (copy to Working Parties 5B and 6A for information) - Technical and operational characteristics for systems operating within the 40-50 MHz frequency band	SWG6A-3	Note
40	6A/62	WPs 5A, 5B and 5C	Reply liaison statement to ITU-T Study Group 5, ITU-R Working Parties 5D and 6A (copy for information to Working Parties 3L, 1B, 1C and ITU-D Study Group 2) - Human exposure to electromagnetic fields (EMFS)	SWG6A-2	Note
41	6A/63	WP 5B	Liaison statement requesting technical characteristics for WRC-19 agenda item 1.9.2 from Working Parties 4C, 5A, 5C, 6A, 7B and 7D (copy to Working Parties 1A and 3M for information)	SWG6A-3	Note
42	6A/64	WP 5C	Reply liaison statement to Working Party 7B (copy for information to Working Parties 1A, 3M, 4A, 4B, 4C, 5A, 5B and 6A) - WRC-19 agenda item 1.7	SWG6A-3	Note
43	6A/65	TG 5/1	Liaison statement to Working Parties 3J, 3K, 3M, 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D - Preparation for WRC-19 agenda item 1.13	SWG6A-3	Note
44	6A/66	WP 5A	Reply liaison statement to Working Party 1A (copy for information to Working Parties 1B, 5B 5C, 6A, 7A and 7D) - Radio frequency ranges for wireless power transmission using technologies other than radio frequency beam	SWG6A-2	Note
45	6A/67	WP 5A	Liaison statement to Working Party 6A (copy to Working Parties 1B, 5B, 5C, 3K and 3M) - WRC-19 agenda item 1.1	SWG6A-3	6A/49
46	6A/68	WP 5A	Liaison statement to Working Party 7B (copied for information to Working Parties 3M, 4C, 5B, 5C, 5D and 6A) - Technical characteristics for WRC-19 agenda item 1.3	SWG6A-3	6A/50
47	6A/69	WP 5A	Reply liaison statement to Working Party 7B (copy for information to Working Parties 1A, 3M 4A, 4B, 4C, 5B, 5C, 5D and 6A) - WRC-19 agenda item 1.7	SWG6A-3	6A/51
48	6A/70	ATDI	RF human exposure - WHO: Fundamental safety principles for protection against non-ionizing radiation	SWG6A-2	Note
49	6A/71	Chairmen, SG 3, WP 3J, WP 3K and WP 3M	Liaison statement to Working Party 5D (copied for information to Task Group 5/1) - Propagation advice in support of agenda item 1.13: input requested from Working Party 5D	SWG6A-3	Note
50	6A/72	ITU-D SG 2	Liaison statement from ITU-D Study Group 2 Question 7/2 to ITU-T Study Group 5, ITU-R Study Groups 1, 5, 6 and their relevant Working Parties on ongoing collaboration	SWG6A-2	Note
51	6A/73	WP 1A	Liaison statement to ITU-R Working Parties 5A and 5C (copy to ITU-R Working Parties 3J, 3K, 3M, 4A, 5D, 6A, 7C and 7D) - Preparations for WRC-19 agenda item 1.15 - Request for characteristics of land-mobile and fixed service applications in the frequency range 275-450 GHz as related to WRC-19 agenda item 1.15	SWG6A-3	Note
52	6A/74	WP 1B	Reply liaison statement to ITU-R /ITU-D Joint Group on WTDC Resolution 9 on the progress of ongoing work on WTDC Resolution 9 (Rev. Dubai, 2014) during the ITU-D study period 2014-2017, with respect to Chapter 1 - New/emerging spectrum management approaches (copied to ITU-R Working Parties 1A, 1C, 5A, 5B, 5C, 5D, and 6A for information)	SWG6A-4	Note



53	6A/75	WP 1B	Liaison statement to ITU-R Working Parties 1A, 1C, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D and ITU-D/ITU-R Joint Group WTDC Resolution 9 - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[CRS SPECTRUM MANAGEMENT CHALLENGES] - Spectrum management principles, challenges and issues related to dynamic access to frequency bands by means of radio systems employing	SWG6A-4	Note
54	6A/76	SG 1	Liaison statement to ITU-T Study Group 5 and ITU-D Study Group 2 (copy for information to ITU-R Working Parties 4A, 5A, 5B, 5C, 5D and 6A) - WHO: fundamental safety principles for protection against non-ionizing radiation	SWG6A-2	Note
55	6A/77	WP 1A	Liaison statement to Working Parties 7C and 7D (copy to Working Parties 3J, 3K, 3M, 4A, 5A, 5C, 5D and 6A) - Request for characteristics of passive systems operating in the frequency range 275-450 GHz as related to WRC-19 agenda item 1.15	SWG6A-3	Note
56	6A/78	WP 1A	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 (copy to Working Parties 5A, 5B, 5C, 5D, 6A and 6C) - Liaison activities on the latest version of the Access Network Transport (ANT), Smart Grid and Home Network Transport (HNT) standards overviews and work plans	SWG6A-2	Note
57	6A/79	WP 1A	Liaison statement to Working Parties 3J, 3K and 3M (copy to Working Parties 4A, 5A, 5C, 5D, 6A, 7C and 7D) - Propagation characteristics in the range 275-450 GHz in preparation for WRC-19 agenda item 1.15	SWG6A-3	Note
58	6A/80	WP 1A	Liaison statement to Working Parties 1C & 3L (copy for information to Working Parties 5A, 5B, 5C, 6A, 7A & 7D) - Assessment of the impact of other emissions to Radiocommunication services (Questions ITU-R 221-2/1 & ITU-R 236/1)	SWG6A-2	Note
59	6A/81	WP 1A	Liaison statement to ITU-T Study Group 5 (copy for information to ITU-R Working Parties 5B and 6A and to ITU-T Study Group 9) - Leakage and impact of radio frequency noise from telecommunication systems using metallic conductors	SWG6A-2	Note
60	6A/82	WP 1A	Liaison statement to ITU-T Study Group 5 (copy for information to ITU-R Working Parties 5B & 6A) - ITU-R interest in K-series Recommendations	SWG6A-2	Note
61	6A/83	WP 1A	Liaison statement to Working Parties 1B, 5A, 5B, 5C, 6A, 7A and 7D - Radio frequency ranges for wireless power transmission using technologies other than radio frequency beam	SWG6A-2	6A/25
62	6A/84	WP 1A	Reply liaison statement to Working Party 5A (copied for information to Working Parties 1B, 5B, 5C, 6A, 7A and 7D) - Radio frequency ranges for wireless power transmission using technologies other than radio frequency beam	SWG6A-2	Note
63	6A/85	WP 1A	Reply liaison statement to Working Party 5B (copied for information to Working Parties 1B, 5A, 5C, 6A, 7A and 7D) - Radio frequency ranges for wireless power transmission using technologies other than radio frequency beam relative to the services under the purview of WP 5B	SWG6A-2	Note
64	6A/86	WP 1A	Liaison statement to Working Party 7D (copy to Working Parties 1B, 5A, 5B, 5C, 6A and 7A) - Radio frequency ranges for wireless power transmission using technologies other than radio frequency beam relative to protection of the passive services	SWG6A-2	Note

65	6A/87	WP 1A	Liaison statement to Working Parties 5B and 6A - Proposed revision of Recommendation ITU-R SM.1009-1	SWG6A-3	6A/52
66	6A/88	WP 1C	Liaison statement to Working Party 6A - Creation of a WP 1C Correspondence Group on DVB-T/T2 coverage measurements and evaluation of planning criteria towards a review of Recommendation ITU-R SM.1875-2	SWG6A-1	6A/44
67	6A/89	WP 1B	Liaison statement to Working Parties 1A, 5B and 6A - Studies on WRC-19 agenda item 9.1, issue 9.1.6 - "Wireless power transmission for Electric Vehicles (WPT4EV)"	SWG6A-2	Note
68	6A/90	WP 1A	Liaison statement to Working Parties 5A, 5C and 6A - Revision of Recommendation ITU-R SM.851	SWG6A-3	6A/48
69	6A/91	WP 5D	Liaison statement to Working Party 7B (copied to Working Parties 3M, 4C, 5A, 5B, 5C and 6A for information) - Technical and operational characteristics for the work under WRC-19 agenda item 1.3	SWG6A-3	Note
70	6A/92	WP 5D	Liaison statement to Working Party 7B (copied to Working Parties 1A, 3M, 4A, 4B, 4C, 5B, 5C and 6A for information) - Technical and operational characteristics for the work under WRC-19 agenda item 1.7	SWG6A-3	Note
71	6A/93	WP 5D	Reply liaison statement to ITU-R /ITU-D Joint Group on WTDC Resolution 9 on the progress of ongoing work on WTDC Resolution 9 (Rev. Dubai, 2014) during the ITU-D Study period 2014-2017 (copied to ITU-R Working Parties 1A, 1B, 1C, 5A, 5B, 5C and 6A for information)	SWG6A-4	Note
72	6A/94	WP 5D	Liaison statement to Working Parties 4A, 4C, 6A and 7B (copied to Working Parties 3J, 3K, 3M and Task Group 5/1 for information) - Modelling and simulation of IMT networks for use in sharing and compatibility studies	SWG6A-3	6A/46
73	6A/95	WP 3K	Liaison statement to Working Party 6A - Location variability in land area-coverage prediction	SWG6A-1	Note
74	6A/96	WP 3K	Liaison statement to Working Party 6A - Ducting effects on received signal quality of digital TV services	SWG6A-1	6A/57 6A/58
75	6A/97	WP 3L	Reply liaison statement to Working Party 1A (copied to Working Parties 1C, 5A, 5B, 5C, 6A, 7A and 7D) - Assessment of the impact of other emissions to radiocommunication services	SWG6A-2	Note
76	6A/98	WPs 3K and 3M	Reply liaison statement to Working Party 7D (copied for information to Working Parties 1A, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7C and Task Group 5/1) - Propagation data and predictions for coexistence and compatibility studies above 50 GHz	SWG6A-3	Note
77	6A/99	ITU-T SG 15	Liaison statement on determination of Amendment 1 to Recommendation ITU-T G.9700 (2014)	SWG6A-2	Note
78	6A/100	WPs 3K and 3M	Reply liaison statement to Working Parties 1A, 5A and 5C (copied for information to Working Parties 4A, 5D, 6A, 7C and 7D) - Propagation characteristics in the frequency range 275-450 GHz in preparation for WRC-19 agenda item 1.15	SWG6A-3	Note
79	6A/101 (Rev.2)	High Frequency Co-ordination Conference	Proposed draft new Recommendation	SWG 6A-5	6A/39
80	6A/102	Indonesia (Republic of)	Overview the effect of digital technology development in broadcasting industry to regulatory system	SWG6A-4	Note
81	6A/103	Russian Federation	Terminology relating to the transition from analogue to digital radio technologies	SWG6A-4	6A/43

82	6A/104	SG 1	Reply liaison statement to the Coordination Committee for Vocabulary (CCV) and the Standardization Committee for Vocabulary (SCV) (copy to ITU-R Study Group 6 and Working Party 1B) - Terminology relating to the transition from analogue to digital radio technologies	SWG6A-4	6A/43
83	6A/105	CCV and SCV	Liaison statement to ITU-R Study Groups 1 and 6 - Terminology relating to the transition from analogue to digital radio technologies	SWG6A-4	6A/43
84	6A/106	Rapporteur of SG 6 on Terminology	Report of the Rapporteur on Terminology	SWG6A-4	6A/43
85	6A/107	Chairman, SG 6	Review of Questions assigned to Study Group 6	SWG6A-4	Note
86	6A/108	Chairman, SG 6	For the development of a strategy of Study Group 6 and the vision for the future of broadcasting	WP6A	Note
87	6A/109	British Broadcasting Corporation (BBC)	Proposed draft new Recommendation	SWG 6A-5	6A/39
88	6A/110	ITU-D SG 1	Liaison statement from ITU-D Study Group 1 Question 2/1 to ITU-R Coordination Committee for Vocabulary (CCV); Working Parties 4A, 4B and 4C; Working Parties 5A, 5B, 5C and 5D; Working Party 6A, on broadband definition - Broadband access technologies, including IMT, for developing countries - What is the definition of Broadband	SWG6A-4	Note
89	6A/111	ITU-D SG 1	Liaison statement from ITU-D Study group 1 Question 8/1 to ITU-R Working Party 6A on the transition from analogue to digital television broadcasting - Examination of strategies and methods of migration from analogue to digital terrestrial broadcasting and implementation of new services	SWG6A-1	—
90	6A/112	WP 4A	Liaison statement to Working Party 5D (copied for information and action (if any) to Working Parties 4C, 5A, 6A, 7B and Task Group 5/1 and copied for information only to Working Parties 3J, 3K and 3M) - Modelling and simulation of IMT networks for use in sharing and compatibility studies	SWG6A-3	6A/46
91	6A/113	ITU-T SG 15	New version of the Access Network Transport (ANT) Standards Overview and Work Plan	SWG6A-2	Note
92	6A/114	ITU-T SG 15	New version of the Home Network Transport (HNT) Standards Overview and Work Plan	SWG6A-2	Note
93	6A/115	CBS Corporation	Possible suppression of vintage ITU-R Reports in the BT.-Series	AWG6A-4	6A/32
94	6A/116	CBS Corporation	Proposed treatment of the ITU-R Handbooks assigned to Study Group 6	SWG6A-1	Note
95	6A/117	CBS Corporation	Proposed liaison statement to the CCV - Definition of selectivity threshold	SWG 6A-1	6A/56
96	6A/118	CBS Corporation	Proposed revision to Report ITU-R BT.2382-0 - Description of interference into a digital terrestrial television receiver	SWG 6A-1	6A/28
97	6A/119	CBS Corporation	Draft reply liaison statement to Working Party 7B - Technical characteristics for the Broadcasting Service relative to WRC-19 agenda item 1.3	SWG6A-3	6A/50
98	6A/120	CBS Corporation	Draft reply liaison statement to Working Party 1A - Revision of Recommendation ITU-R SM.851 - Sharing between the broadcasting service and the fixed and/or mobile services in the VHF and UHF bands	SWG6A-3	6A/48
99	6A/121	CBS Corporation	Draft reply liaison statement to Working Party 5D - Modelling and simulation of IMT networks for use in sharing and compatibility studies	SWG6A-3	6A/46

100	6A/122	Australia	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.1871 - User requirements for wireless microphones	SWG6A-4	6A/30
101	6A/123	Australia	Background to a reply liaison statement to Working Party 3K - Ducting effects on received signal quality of digital TV services	SWG 6A-1	6A/57
102	6A/124	Japan	Proposed revision of Report ITU-R BT.2252-2 - Objective quality coverage assessment of digital terrestrial television broadcasting signals of Systems A, B and D	SWG6A-1	6A/27
103	6A/125	North American Broadcasters Association (NABA)	Proposed new Opinion of Study Group 6 - The activation of radio receivers in smart phones	SWG 6A-5	6A/38 6A/40
104	6A/126	Italy, Vatican City State	Proposed merge of Resolutions ITU-R 34, 35 and 36	WP6A	—
105	6A/127	Italy, Vatican City State	Proposed reply to the CCV and SCV liaison statement to Study Group 6 on terminology relating to the transition from analogue to digital radio technologies	SWG6A-4	6A/43
106	6A/128	China (People's Republic of)	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.1368-12 - Planning criteria for DTMB services in the VHF/UHF bands	SWG6A-1	6A/34
107	6A/129	China (People's Republic of)	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.1368-12 - Planning criteria for DTMB-A services in the VHF/UHF bands	SWG6A-1	6A/34
108	6A/130	China (People's Republic of)	Proposed modification of working document toward preliminary draft revision Recommendation ITU-R BS.1114-9 - Systems for terrestrial digital sound broadcasting to vehicular, portable and fixed receivers in the frequency range 30-3 000 MHz	SWG6A-5	6A/37
109	6A/131	China (People's Republic of)	Use of UTC time and frequency as reference in DTMB SFN	SWG6A-1	6A/35
110	6A/132	United States of America	Input on the revision of Recommendation ITU-R BT.1872, "User requirements for digital electronic news gathering"	SWG6A-4	6A/30
111	6A/133	United States of America	Input on the revision of Report ITU-R BT.2344-0, "Information on technical parameters, operational characteristics and deployment scenarios of SAB/SAP as utilized in broadcasting"	SWG6A-4	6A/31
112	6A/134	United States of America	Input on the revision of Report ITU-R BT.2069-6, "Tuning ranges and operational characteristics of terrestrial electronic news gathering (ENG), television outside broadcast (TVOB) and electronic field production (EFP) systems"	SWG6A-4	6A/41
113	6A/135	Co-Chairmen, Correspondence Group on DTTB Handbook	Chairmen's Report On DTTB Handbook Correspondence Group	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/45
114	An.1	Co-Chairmen, Correspondence Group on DTTB Handbook	Editors' foreword AcknowledgementsDisclaimer Preface	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/45 An.01
115	An.2	Co-Chairmen, Correspondence Group on DTTB Handbook	Introduction to Part 1 General aspects of digital TV broadcasting	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/45 An.02
116	An.3	Co-Chairmen, Correspondence Group on DTTB Handbook	Strategies for DTTB introduction	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/45 An.03
117	An.4	Co-Chairmen, Correspondence Group on DTTB Handbook	Requirements for the implementation of digital terrestrial television broadcasting networks	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/45 An.04

118	An.5	Co-Chairmen, Correspondence Group on DTTB Handbook	Broadcast network planning	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/45 An.05
119	An.6	Co-Chairmen, Correspondence Group on DTTB Handbook	Sharing and protection	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/45 An.06
120	An.7	Co-Chairmen, Correspondence Group on DTTB Handbook	Cross-border coordination	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/45 An.07
121	An.8	Co-Chairmen, Correspondence Group on DTTB Handbook	Quality of service for broadcast television	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/45 An.08
122	An.9	Co-Chairmen, Correspondence Group on DTTB Handbook	Satellite assistance	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/45 An.09
123	An.10	Co-Chairmen, Correspondence Group on DTTB Handbook	Introduction to Part 2 Systems for digital terrestrial television broadcasting	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/45 An.10
124	An.11	Co-Chairmen, Correspondence Group on DTTB Handbook	Interactivity and collaboration between DTTB and non-broadcasting systems	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/45 An.11
125	An.12	Co-Chairmen, Correspondence Group on DTTB Handbook	Conditional access and content protection in digital television broadcasting	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/45 An.12
126	An.13	Co-Chairmen, Correspondence Group on DTTB Handbook	Quality of the baseband signal	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/45 An.13
127	An.14	Co-Chairmen, Correspondence Group on DTTB Handbook	Digital TV receivers	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/45 An.14
128	An.15	Co-Chairmen, Correspondence Group on DTTB Handbook	Accessibility aspects	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/45 An.15
129	An.16	Co-Chairmen, Correspondence Group on DTTB Handbook	Introduction to Part 3 Contribution and news-gathering systems	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/45 An.16
130	An.17	Co-Chairmen, Correspondence Group on DTTB Handbook	List of abbreviations	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/45 An.17
131	6A/136	France	Proposed update to Report ITU-R BT.2301	SWG6A-3	6A/33 R2
132	6A/137	Germany (Federal Republic of), Portugal	Proposed revision of Recommendation ITU-R SM.1009-1	SWG6A-3	6A/52
133	6A/138	Brazil (Federative Republic of), Japan	Proposed revision of Report ITU-R BT.2343-1 Collection of field trials of UHD TV over DTT networks	SWG6A-1	6A/26
134	6A/139	Broadcast Networks Europe	Low power DVB-T/T2 antenna pattern	SWG6A-1	6A/54

135	6A/140	CBS Corporation	Proposed revision to Report ITU-R BT.2337-0 - Sharing and compatibility studies between digital terrestrial television broadcasting and terrestrial mobile broadband applications, including IMT, in the frequency band 470-694/698 MHz	SWG6A-3	6A/47
136	6A/141	Norddeutscher Rundfunk (NDR), Zweites Deutsches Fernsehen	Comparison of measured and calculated C/N values in Report BT.2254 and C/N values for time-variant Rayleigh channels for DVB-T2	SWG 6A-1	6A/55
137	6A/142	British Broadcasting Corporation (BBC), European Broadcasting Union	Proposed revision of Recommendation ITU-R SM.1009-1	SWG6A-3	6A/52
138	6A/143	European Broadcasting Union	Correction of Table 2.7 in Report BT.2254-2 (Length of guard interval for DVB-T2 in a 1.7 MHz channel raster)	SWG 6A-1	6A/55
139	6A/144	European Broadcasting Union	Preliminary draft revision to Recommendation ITU-R BS.1114-9 - Systems for terrestrial digital sound broadcasting to vehicular, portable and fixed receivers in the frequency range 30-3 000 MHz	SWG6A-5	6A/37
140	6A/145	SG 6 Rapp. on PLT Issues	Report on recent developments concerning PLT systems and general EMC-related interference issues (Question ITU-R 221/1)	SWG6A-2	Note
141	6A/146	Rapp. on WPT Issues	Report on recent developments on WPT under issue 9.1.6 of WRC-19	SWG6A-2	Note
142	6A/147	Director, BR	DVB specification for the use of video and audio coding in broadcasting applications	SWG6A-1	Note
143	6A/148	RG on RF Hazard	First Report from the Rapporteur Group of Working Party 6A on RF Hazard	SWG6A-2	Note
144	6A/149	WP 5D	Liaison statement to Working Parties 6A and 6B - Audio-visual capabilities and applications supported by terrestrial IMT systems	SWG6A-1	Note
145	6A/150	WP 5D	Liaison statement to ITU-D Study Group 1 Question 2/1, to ITU-R Coordination Committee for Vocabulary (CCV), Working Parties 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C and 6A on broadband definition - Broadband access technologies, including IMT, for developing countries - What is the definition of Broadband	SWG6A-4	Note
146	6A/151	WP 5D	Liaison statement to Study Group 6 and Working Party 6A (copy to Study Group 5) - Revisions to Report ITU-R BT.2337 - Sharing and compatibility studies between digital terrestrial television broadcasting and terrestrial mobile broadband applications, including IMT, in the frequency band 470-694/698 MHz	SWG6A-3	6A/47
147	6A/152	WP 5D	Liaison statement to Working Party 4A (copied for information to Working Parties 3J, 3K, 3M, 4C, 5A, 6A, 7B and Task Group 5/1) - Modelling and simulation of IMT networks for use in sharing and compatibility studies	SWG6A-3	6A/46
148	6A/153	RG - 11	Report of the Chairman on RG 11 activity	SWG6A-5	Note
149	6A/154	BR Study Groups Department	List of documents issued (Documents 6A/36 - 6A/154)	-	-
150	6A/155	ITU-T SG 5	Liaison statement on information about work that is being carried out within work under study in ITU-T Q7/5	SWG6A-2	Note
151	6A/156	ITU-D SG 2	Liaison statement from ITU-D Study Group 2 Question 4/2 to ITU-R Study Group 6 Working Party 6A on collaboration	SWG6A-1	-

152	6A/157	ITU-D SG 2	Liaison statement from ITU-D Study Group 2 Question 5/2 to ITU-R Working Party 6A on Report on ICT experiences and best practices in disaster mitigation and relief	SWG6A-4	6A/53
153	6A/158	ITU-D SG 2	Liaison statement from ITU-D Study Group 2 Question 7/2 to ITU-T Study Group 5, ITU-R Study Group 1, ITU-R Study Group 5, ITU-R Study Group 6 and their relevant Working Parties on ongoing collaboration	WP6A	Note
154	6A/159	ITU-D SG 2	Liaison statement from ITU-D Study Group 2 Question 9/2 to ITU-T and ITU-R Study Groups on ongoing collaboration	WP6A	Note
(注) Note: 情報として取り扱った文書 RG:RGで継続審議となった文書 CR:議長レポートの添付					

表 3 出力文書一覧(34 件)

	出力文書 番号 (6A/ TEMP)	文書名	審議 (SWG 6A-)	入力文書 番号 (6A)	処理 (Annex)
1	6A/25	Draft liaison statement to Working Parties 1A, 1B, 1C, 5A, 5B, 5C, 7A and 7D - Radio frequency ranges for wireless power transfer (WPT)	SWG 6A-2	6A/83	LS
2	6A/26	Draft revision to Report ITU-R BT.2343-1 - Collection of field trials of UHDTV over DTT networks	SWG 6A-1	6A/138	SG
3	6A/27	Preliminary draft revision to Report ITU-R BT.2252-2 - Objective quality coverage assessment of digital terrestrial television broadcasting signals of Systems A, B and D	SWG 6A-1	6A/124	CR (An.07)
4	6A/28	Draft revision to Report ITU-R BT.2382-0 - Description of interference into a digital terrestrial television receiver	SWG 6A-1	6A/36 An.02 6A/118	SG
5	6A/29	Proposal for a Correspondence Group - Working document towards a new Recommendation ITU-R BT.[BEYOND1STGEN] - Methodology for performance evaluation of digital television broadcasting beyond 1st generation DTTB systems, including assessment of coverage	SWG 6A-1	6A/36 An.01	CR (An.14)
6	6A/30	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.1871 - User requirements for wireless microphones	SWG 6A-4	6A/122	CR (An.05)
7	6A/31	Working document towards preliminary draft revision of Report ITU-R BT.2344-0 - Information on technical parameters, operational characteristics and deployment scenarios of SAB/SAP as utilized in broadcasting	SWG 6A-4	6A/134	CR (An.11)
8	6A/32	Suppression of ITU-R Questions and Reports in the BT-series	SWG 6A-4	6A/115	CR (An.01)
9	6A/33	Proposed draft revision to Report ITU-R BT.2301	SWG 6A-3	6A/136	SG
10	6A/34	Preliminary draft revision to Recommendation ITU-R BT.1368-12 - Planning criteria, including protection ratios, for digital terrestrial television services in the VHF/UHF bands	SWG 6A-1	6A/128 6A/129	CR (An.04)
11	6A/35	Preliminary draft revision of Report ITU-R BT.2386-0 - Digital terrestrial broadcasting: Design and implementation of single frequency networks (SFN)	SWG 6A-1	6A/131	CR (An.09)
12	6A/36	Draft revision of Report ITU-R BS.2214-1 - Planning parameters for terrestrial digital sound broadcasting systems in VHF bands	SWG 6A-5	6A/36 An.03	SG
13	6A/37	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BS.1114-9 - Systems for terrestrial digital sound broadcasting to vehicular, portable and fixed receivers in the frequency range 30-3 000 MHz	SWG 6A-5	6A/130 6A/144	CR (An.03)
14	6A/38	Preliminary draft revision of Report ITU-R BT.2299 - Broadcasting for public warning, disaster mitigation and relief	SWG 6A-5	6A/125	CR (An.08)
15	6A/39	Preliminary draft new Recommendation - Use of International Radio for Disaster Relief (IRDR) frequencies for emergency broadcasts in the short wave bands	SWG 6A-5	6A/101 6A/109	CR (An.02)
16	6A/40	Preliminary new ITU-R Opinion - The activation of radio receivers in smart phones	SWG 6A-5	6A/125	CR (An.12)
17	6A/41	Working document towards preliminary draft revision of Report ITU-R BT 2069-6 - Tuning ranges and operational characteristics of terrestrial electronic news gathering (ENG), television outside broadcast (TVOB) and electronic field production (EFP) systems	SWG 6A-4	6A/134	CR (An.06)



18	6A/42	Proposed draft liaison statement to Working Parties 5A and 5C - Information on tuning ranges, technical parameters, operational characteristics and deployment scenarios of SAB/SAP as utilized in broadcasting	SWG 6A-4	6A/133 6A/134	LS
19	6A/43	Liaison statement to the CCV on proposal to add some broadcasting terms to the ITU terminology database	SWG 6A-4	6A/103 6A/104 6A/105 6A/106 6A/127	SG
20	6A/44	Draft reply liaison statement to Working Party 1C - ITU-R recommendations and Reports on planning criteria, coverage measurements, assessment and evaluation of DVB-T and DVB-T2	SWG 6A-1	6A/88	LS
21	6A/45	Draft new Handbook on "Digital terrestrial television networks and systems implementation"	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/135	SG
	An.1	Editors' foreword Acknowledgements Disclaimer Preface	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/135 An.01	SG
	An.2	Network aspects	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/135 An.02	SG
	An.3	Strategies for DTTB introduction	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/135 An.03	SG
	An.4	Requirements for the implementation of digital terrestrial television broadcasting networks	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/135 An.04	SG
	An.5	Broadcast network planning	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/135 An.05	SG
	An.6	Sharing and protection	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/135 An.06	SG
	An.7	Cross-border coordination	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/135 An.07	SG
	An.8	Quality of service for broadcast television	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/135 An.08	SG
	An.9	Satellite assistance	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/135 An.09	SG
	An.10	Part2 - Systems aspects	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/135 An.10	SG
	An.11	Interactivity and collaboration between DTTB and non-broadcasting systems	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/135 An.11	SG
	An.12	Conditional access and content protection in digital television broadcasting	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/135 An.12	SG
	An.13	Quality of the baseband signal	Ad-hoc Group1 on DTTB	6A/135 An.13	SG

			Handbook		
	An.14	Digital TV receivers	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/135 An.14	SG
	An.15	Accessibility aspects	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/135 An.15	SG
	An.16	Part 3 - Contribution and ENG aspects for digital programme production - Introduction to Part 3	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/135 An.16	SG
	An.17	List of abbreviations	Ad-hoc Group1 on DTTB Handbook	6A/135 An.17	SG
22	6A/46	Draft reply liaison statement to Working Party 5D (Copy to Working Parties 3K and 3M) - Modelling and simulation of IMT networks for use in sharing and compatibility studies	SWG 6A-3	6A/121 6A/94 6A/112 6A/152	LS
23	6A/47	Liaison statement to Study Group 5 (copy to Working Party 5D) - Revisions to Report ITU-R BT.2337 - Sharing and compatibility studies between digital terrestrial television broadcasting and terrestrial mobile broadband applications, including IMT, in the frequency band 470-694/698 MHz	SWG 6A-3	6A/151	LS
24	6A/48	Liaison statement to Working Party 1A - Revision of Recommendation ITU-R SM.851 - Sharing between the broadcasting service and the fixed and/or mobile services in the VHF and UHF bands	SWG 6A-3	6A/90 6A/120	LS
25	6A/49	Liaison statement to Working Party 5A (copy to Working Parties 1B, 5B, 5C, 3K, 3M) - WRC-19 agenda item 1.1	SWG 6A-3	6A/67	LS
26	6A/50	Liaison statement to Working Party 7B - Technical characteristics for the Broadcasting Service relative to WRC-19 agenda item 1.3	SWG 6A-3	6A/48 6A/68 6A/119	LS
27	6A/51	Liaison statement to Working Party 7B - Technical characteristics for the Broadcasting Service relative to WRC-19 agenda item 1.7	SWG 6A-3	6A/47 6A/69	LS
28	6A/52	Draft reply liaison statement to Working Party 1A (Copied for information to Working Party 5B) - Proposed revision of Recommendation ITU-R SM.1009-1	SWG 6A-3	6A/87	LS
29	6A/53	Liaison statement to ITU-D Study Group 2 - ITU-D Report on ICT experiences and best practices in disaster mitigation and relief	SWG 6A-4	6A/157	LS
30	6A/54	Draft revision of Report ITU-R BT.2383-0 - Characteristics of digital terrestrial television broadcasting systems in the frequency band 470-862 MHz for frequency sharing/interference analyses	SWG 6A-1	6A/139	SG
31	6A/55	Material for future draft revision of Report ITU-R BT.2254-2 - Frequency and network planning aspects of DVB-T2	SWG 6A-1	6A/141 6A/143	CR (An.10)
32	6A/56	Preliminary draft liaison statement to the CCV - Definition of selectivity threshold	SWG 6A-1	6A/117	CR (An.13)
33	6A/57	Proposal for a Correspondence Group - Use of MER to assess impact of anomalous propagation on co-channel interference	SWG 6A-1	6A/96 6A/123	CR (An.15)
34	6A/58	Draft reply liaison statement to Working Party 3K - Ducting effects on received signal quality of digital TV services	SWG 6A-1	6A/96	LS
(注)CR: 議長レポートに添付、LS: リエゾン文書送付、SG: SG6 に送付、Text: 議長報告本文に文章を記載、Note: 情報として取り扱った文書					